

和歌山県立近代美術館

年 報

昭 和 53 年 度

昭和53年度

和歌山県立近代美術館年報

目次

1	主要行事	1
2	主催展覧会	2
	企画展「洋画・彫刻・版画の世界」	2
	第5回移動美術館「移動美術館'78 橋本展 有田展」	4
	日高昌克展	5
	企画展「館蔵作品展—新収蔵作品を中心として—」	9
	神中糸子と工部美術学校展	10
3	共催展覧会	14
4	貸館展覧会	15
5	普及活動	17
6	昭和53年度所蔵作品	19
7	所蔵品貸出状況	21
8	県立近代美術館協議会委員	21
9	県立近代美術館職員構成	21
	〈資料紹介〉 「日高昌克日記(I)」	22

1. 主要行事

4月1日～4月24日	展示コーナー「石垣栄太郎のデッサン」
4月28日～5月14日	企画展「洋画・彫刻・版画の世界」
4月28日～5月29日	展示コーナー「吉田政次の版画」
6月1日～6月29日	展示コーナー「裕伊之助の作品」
6月8日～6月11日	移動美術館'78 「橋本展」
6月15日～6月18日	移動美術館'78 「有田展」
7月1日～7月30日	展示コーナー「小出檐重のデッサン」
7月6日～7月17日	第16回和歌山県美術家協会展 第I期 7月6日～7月10日 <洋画・彫塑・写真・現代造形> 第II期 7月13日～7月17日 <生花・書・日本画・工芸>
8月2日～9月4日	展示コーナー「浜口陽三の版画(リトグラフ)」
9月7日～10月2日	展示コーナー「野長瀬晩花の小品」
10月7日～10月30日	秋の特別展「日高昌克展」
10月14日～10月15日	美術鑑賞ツアー「古都の名刹めぐり」
10月23日	第15回和歌山県立近代美術館協議会
11月16日～12月17日	第32回和歌山県美術展覧会 第I期 11月16日～11月20日 <生花・現代造形・書> 第II期 11月23日～11月27日 <日本画・写真・工芸> 第III期 11月30日～12月4日 <洋画・彫塑> 新宮展 12月15日～12月17日 <生花を除く各部門選抜>
11月16日～12月25日	展示コーナー「木下義謙の小品」
1月10日～2月11日	企画展「館蔵作品展—新収蔵作品を中心として—」
1月10日～2月19日	展示コーナー「原勝四郎の小品」
2月15日～2月19日	第13回和歌山県立近代美術館友の会展
2月24日～3月21日	春の特別展「神中糸子と工部美術学校展」
3月12日	第16回和歌山県立近代美術館協議会
3月23日～3月31日	展示コーナー「川口軌外のデッサン」

2. 主催展覧会

○ 企画展「洋画・彫刻・版画の世界」

会期 4月28日～5月14日(毎週火曜日休館)

当館所蔵品を中心に、従来開催の常設展の規模を上げ、郷土ゆかりの川口軌外をはじめ17作家による洋画、彫刻、版画作品を展覧した。(入場者 1,974人)

出品目録

No.	作者	作品名	材質形状	寸法	制作年
1	石垣栄太郎	拳闘	油彩・キャンバス	75.0×91.0	1925
2	〃	街	〃	122.0×90.0	〃
3	〃	ポーナスマーチ	〃	147.0×106.0	1932
4	〃	キューバ島の反乱	〃	181.0×140.0	1933
5	〃	K・K・K	〃	73.0×92.0	1937
6	〃	スケッチクラス	〃	56.0×72.0	1947
7	鹿子木孟郎	パイプを持つ男	〃	79.5×64.0	1906
8	川口軌外	ボヘミアン	〃	130.0×96.0	1928
9	〃	地維	〃	154.5×193.5	1932
10	〃	少女と貝殻	〃	159.0×267.0	1934
11	〃	夏の海	〃	166.0×266.5	1940
12	〃	熊野灘	〃	161.0×129.8	〃
13	〃	写像	〃	116.0×88.3	1927
14	〃	集団	〃	160.0×112.0	1956
15	〃	樹間と鳥	〃	193.0×130.0	1958
16	木下孝則	後向きの裸女習作	〃	100.0×80.0	1925
17	〃	女優の像	〃	91.0×73.0	1926
18	〃	赤衣の女	〃	71.5×51.0	1934
19	木下義謙	父の肖像	〃	65.0×50.0	1926
20	〃	横たわる裸体の習作	〃	73.0×116.5	〃
21	〃	肖像	〃	116.7×73.0	1928
22	〃	静物	〃	73.0×91.0	1931
23	〃	赤衣半身像	〃	91.0×73.0	〃
24	〃	同窓	〃	73.0×60.5	1924
25	須田国太郎	風景	〃	50.0×60.5	1950頃
26	高井貞二	AKA TO KIN	〃	188.0×178.5	1962
27	〃	MURASAKI	〃	138.0×133.0	〃
28	〃	赤い糸	〃	194.0×73.0	1967
29	〃	スリーサークル	〃	131.5×176.5	〃
30	建島覚造	NIGHT WATCH	ステンレス	60×150×70	1974
31	〃	D I S K 4	〃	60×150×90	1977
32	建島大夢	若き日の北村西望	ブロンズ	H18	1911
33	〃	〃	〃	H24	1911頃
34	〃	おゆのつかれ	〃	H67	1913

35	建畠大夢	子供	ブロンズ	H94	1917				
36	"	憩う女	"	H113	1925				
37	"	恩師の顔	"	H35	1939				
38	裕 伊之助	コルシカ島にて	水彩・紙	33.5×	41.0	1921			
39	"	ブザンソン風景	油彩・キャンバス	49.0×	59.5	1924			
40	"	遠顔鏡	"	41.0×	32.0	1934			
41	"	朝 顔	石版・紙	74.2×	53.5	1935			
42	"	大きなパルミエ	"	52.0×	69.0	"			
43	"	鐘 楼	"	50.0×	65.6	"			
44	浜口陽三	洋梨とぶどう	メゾチント・紙	28.0×	37.0	1951			
45	"	スペイン風油入れ	"	28.5×	28.5	1954			
46	"	魚と静物	"	29.0×	39.0	"			
47	"	ジブシー	"	29.0×	29.0	"			
48	"	筆とメロン	"	29.0×	29.0	1955			
49	"	クローバーの実	"	29.5×	29.0	1957			
50	"	雲	"	49.0×	26.0	1958			
51	"	ざくろ	"	29.5×	44.0	"			
52	"	ういきょう	"	29.0×	44.0	"			
53	"	魚とさくらんぼ	カラーメゾチント・紙	14.3×	19.2	"			
54	"	トリコット	メゾチント・紙	24.5×	52.0	1962			
55	"	毛糸と編棒	"	23.9×	53.8	"			
56	"	黒いさくらんぼ	カラーメゾチント・紙	19.5×	24.3	1964			
57	"	19のさくらんぼと1つのさくらんぼ	"	23.5×	53.5	1965			
58	原 勝四郎	画工像	油彩・ボール紙	65.0×	53.0	1932			
59	"	婦人像	"	73.0×	60.0	1934			
60	"	瀬戸風景	"	65.0×	53.0	1935			
61	"	小 湾	"	70.0×	82.0	1940			
62	"	道 化	"	89.0×	72.0	1941			
63	ヘンリー杉本	カームルハイランド海辺	油彩・キャンバス	79.0×	99.0	1937			
64	"	寺院のみえるビーエー村	"	79.0×	99.0	1940			
65	村井正誠	URBAIN No.1	"	110.0×	191.0	1936			
66	保田春彦	階段のある広場・SIRACUSA	ステンレス	75×75×	6	1973			
67	"	階段のある広場・TAORMINA	"	75×75×	6	"			
68	保田龍門	自画像	油彩・キャンバス	45.0×	38.0	1915			
69	"	村の娘	"	83.0×	67.5	1916			
70	"	読 書	"	65.0×	53.0	1921			
71	"	老婦人	"	66.5×	44.5	1921頃			
72	"	裸婦立像	"	81.0×	65.0	1921 ~3頃			
73	"	アンドレの首	ブロンズ	H19		1922			
74	"	裸婦立像	"	H170		1925			
75	"	仰臥女	"	H15		1939頃			
76	"	鳩をもつ婦人立像	"	H81		1949頃			
77	"	パンとニンフ	陶土焼成	H30.5		1945			
78	"	うずくまる女	ブロンズ	H35		1947頃			
79	吉田政次	静 No.36	木版・紙	37.0×	26.5	1953			

80	吉田政次	地の泉 No.1	木版・紙	56.0×	82.5	1956			
81	"	哀愁の日	"	59.3×	43.5	1957			
82	"	相対性絵画 No.5	"	157.0×	157.0	1959			
83	"	空間 No.17	"	57.0×	57.0	1962			
84	"	ミニとデモの時代 No.1	"	87.0×	72.0	1968			
85	"	躍動する心 No.1	"	79.0×	70.0	1968			
86	"	青春の輝き No.2	"	87.0×	72.0	1969			

○ 第5回移動美術館 「移動美術館'78 橋本展・有田展」

本県の地理的状況から広く一般県民に館藏品等を展覧し、美術に対する関心の昂揚を図るため、本年度は橋本、有田の両市において開催した。(入場者 橋本展=720人 有田展=268人)

会 期 (橋本展)6月8日~6月11日/(有田展)6月15日~6月18日

会 場 (橋本展)橋本市教育文化会館4、5展示室/(有田展)有田市・安謐橋会館6階大集会室

主 催 和歌山県立近代美術館 橋本市教育文化会館(橋本展)、有田市教育委員会(有田展)

後 援 橋本市(橋本展)、有田市、有田地方教育委員会連絡協議会(有田展) 和歌山県美術家協会 和

歌山県立近代美術館友の会

出品目録(○印は有田展不出品)

1	野長瀬晩花	スペインの田舎の子供	寒冷紗・彩色	136.0×	110.0	1924			
2	"	少女座像	紙本・彩色	75.5×	41.0	"			
3	"	五月の庭	"	77.0×	137.5	1956			
4	日高昌克	山峡池畔圖	紙本・水墨	44.0×	56.0	1960			
5	小野竹喬	春の芽	紙本・彩色	45.0×	37.9	1972			
6	川端龍子	白浜・円月島	紙本・淡彩	47.0×	69.0	1958			
7	秦 輝男	吉原の女	寒冷紗・彩色	134.5×	44.5	1920頃			
8	柳 頼雅	天意 1970	紙本・水墨	138.0×	72.0	1970	○		
9	"	天意 1971	"	138.0×	72.0	1971	○		
10	青山義雄	木下雅子肖像	油彩・キャンバス	80.0×	60.5	1930頃			
11	石垣栄太郎	街	"	122.0×	90.0	1925			
12	"	拳 闘	"	75.0×	91.0	1925			
13	川口軌外	地 維	"	154.5×	193.5	1932			
14	"	港	"	115.0×	74.0	1957			
15	木下孝則	女優の像	"	91.0×	73.0	1926			
16	"	赤衣の女	"	71.5×	51.0	1934			
17	木下義謙	読書の母	"	41.0×	32.0	1922	○		
18	"	N氏の肖像	"	60.5×	50.0	1926			
19	"	カーニユ風景	"	60.5×	73.0	1929			
20	木下雅子	肘つく女	"	73.0×	60.5	1929			
21	"	玉葱の静物	"	60.5×	73.0	1930			
22	国枝金三	紀州の風景	"	45.5×	53.0	1919	○		
23	"	卓上静物	"	61.0×	73.0	1919	○		
24	高井貞二	MURASAKI	"	138.0×	133.0	1962			
25	"	スリーサークル	"	131.5×	176.5	1967			
26	裕 伊之助	ブザンソン風景	"	49.0×	59.5	1924			
27	"	遠眼鏡	"	41.0×	32.0	1934			
28	原 勝四郎	画工像	油彩・ボール紙	65.0×	53.0	1932			

29	原 勝四郎	小 湾	油彩・ボール紙	70.0× 82.0	1940	
30	ヘンリー杉本	カーメルハイランド海辺	油彩・キャンバス	79.0× 99.0	1937	○
31	保田龍門	自画像	〃	45.0× 38.0	1915	
32	〃	パリ風景	〃	46.0× 54.0	1922	
33	〃	満州風景	〃	45.5× 53.0	1931	○
34	建島大夢	若き日の北村西望	ブロンズ	H24.0	1911頃	
35	〃	お湯のつかれ	〃	H66.7	1913	
36	〃	恩師の顔	〃	H35.0	1939	
37	保田春彦	階段のある広場SIRAKUSA	ステンレス	75×75× 6	1973	
38	〃	階段のある広場TAORMINA	〃	〃	〃	
39	石井柏亭	室 内	紙・石版	27.5× 42.0	1957	
40	北川民次	タスコの裸婦	紙・木版	27.0× 44.0	1941	
41	〃	メキシコの浴み	〃	27.0× 31.0	〃	
42	田中恭吉	あおぞら	〃	16.5× 12.0	1914	
43	〃	風 景	〃	11.0× 16.0	〃	
44	浜口陽三	魚と静物	紙・メゾチント	29.0× 39.0	1954	
45	〃	雲	〃	26.0× 49.0	1958	
46	〃	緑のぶどう	紙・カラーメゾチント	24.5× 19.5	〃	
47	〃	黒いサクランボ	〃	19.5× 24.3	1964	○
48	村井正誠	僧	紙・シルクスクリーン	75.0× 56.0	1973	○
49	〃	太陽と鳥	〃	75.0× 56.0	1975	
50	吉田政次	地の泉 No.1	紙・木版	56.0× 82.5	1956	○
51	〃	憂愁の空 No.2	〃	43.5× 72.0	1957	○
52	〃	空 間 No.44	〃	57.0× 57.0	1965	
53	〃	躍動する心 No.1	〃	79.0× 70.0	1968	
54	〃	青春の輝き No.2	〃	87.0× 72.0	1969	

○ 日高昌克展

会 期 10月7日～10月30日（毎週火曜日休館） （入場者3,149人／有料2,550人）

主 催 和歌山県立近代美術館

文人世界に生きた清高の画家として知られ、胸中の山水を主なモチーフとした詩情あふれる独自の世界を築いた日高昌克（1881～1961）の初期から最晩年に至る画業の展開を探ろうとする最初の試みであった。

出品目録

No.	作 品 名	材 質 ・ 形 状	寸 法	制 作 年	出品展覧会名
1	風牡丹之圖	紙本・彩色・軸装	136.5× 41.8	1919年麦秋	
2	秋山瀑布圖	紙本・墨画淡彩・軸装	139.0× 34.3	1920年初夏	
3	草	絹本・彩色・軸装	39.3× 44.8	1923年夏	
4	（枯木に雀）	紙本・墨画・軸装	140.9× 32.3	1927年冬	
5	秋 郊	〃 ・ 〃 ・ 〃	110.6× 30.6	1928年夏	
6	老梅呷々鳥圖	絹本・彩色・軸装	140.7× 41.6	1930年夏	
7	寒雀之圖	紙本・墨画・軸装	140.7× 41.6	1930年8月	
8	（葡萄圖）	絹本・墨画・色紙	27.1× 24.2	1930年頃	
9	（翡翠圖）	紙本・墨画淡彩・色紙	27.1× 24.1	〃	
10	（鶉 圖）	絹本・彩色・色紙	23.8× 29.8	〃	

11	松に鷹	絹本・彩色・軸装	150.4× 50.7	1931年	
12	秋晴之圖	絹本・墨画淡彩・軸装	134.4× 35.6	1931年夏	
13	池 畔	紙本・墨画・軸装	36.1× 49.8	1932年初秋	
14	葡萄圖	〃 ・ 〃 ・ 〃	128.1× 30.7	1934年初夏	
15	木 兎	〃 ・ 〃 ・ 〃	134.3× 33.3	1934年	
16	双鶴圖	絹本・彩色・軸装	151.2× 51.1	1935年	1943年和歌山個展
17	鶴	〃 ・ 〃 ・ 〃	145.3× 42.2	1935年冬	
18	夕 闇	〃 ・ 〃 ・ 〃	60.2× 72.0	1935年頃	1937年資生堂個展
19	喚 雨	〃 ・ 〃 ・ 〃	35.2× 41.5	〃	〃
20	（山）	紙本・墨画・額装	34.1× 51.7	〃	
21	六甲の山	紙本・墨画・軸装	41.5× 52.2	1940年	1940年資生堂個展
22	達磨大師	紙本・墨画淡彩・軸装	130.5× 44.2	〃	
23	梅花呷々鳥	〃 ・ 〃 ・ 〃	43.4× 51.4	〃	
24	宇奈月の初夏	紙本・彩色・軸装	132.2× 39.2	1940年頃	
25	暁之山	紙本・墨画・軸装	22.9× 30.7	〃	
26	金剛山	〃 ・ 〃 ・ 〃	130.5× 40.3	1942年	1943年和歌山個展
27	長門峡	〃 ・ 〃 ・ 〃	135.1× 46.4	1942年頃	
28	（呷々鳥圖）	〃 ・ 〃 ・ 〃	41.7× 49.2	〃	
29	寒 汀	紙本・墨画淡彩・軸装	118.4× 28.6	1943年	1943年和歌山個展
30	秋郊圖	紙本・墨画・軸装	44.5× 62.9	1943年頃	
31	胡 瓜	〃 ・ 〃 ・ 〃	133.9× 32.1	〃	
32	初夏の汀	紙本・墨画淡彩・軸装	129.5× 39.5	〃	
33	晚 秋	紙本・墨画・軸装	132.0× 35.4	1944年	
34	（山）	〃 ・ 〃 ・ 〃	28.8× 21.0	1944年頃	
35	（山）	〃 ・ 〃 ・ 〃	60.8× 19.8	〃	
36	竹に鶉	〃 ・ 〃 ・ 〃	51.8× 30.0	1946年	
37	（山）	紙本・墨画・額装	26.5× 37.4	1948年	1948年丸善個展
38	朝 霧	紙本・墨画・軸装	134.6× 42.6	〃	
39	初秋の池	紙本・墨画淡彩・軸装	122.0× 30.2	〃	
40	山 峡	紙本・墨画・軸装	134.1× 39.8	〃	1948年兜展個展
41	（山 峡）	〃 ・ 〃 ・ 〃	62.7× 48.0	1948年頃	
42	六甲の山	〃 ・ 〃 ・ 〃	30.3× 41.2	1949年春	
43	呷々鳥	紙本・墨画淡彩・軸装	33.9× 49.3	1949年	
44	白蓮圖	〃 ・ 〃 ・ 〃	30.3× 40.9	〃	
45	瀧	紙本・墨画・軸装	44.6× 38.0	〃	
46	帰 樵	紙本・墨画淡彩・軸装	36.1× 48.2	〃	
47	（白菜と貝）	紙本・墨画彩色・軸装	37.5× 51.0	〃	
48	（魚と貝）	紙本・墨画・軸装	53.4× 57.7	1949年頃	
49	（那智風景圖）	〃 ・ 〃 ・ 〃	50.7× 59.7	〃	
50	湯川の春	〃 ・ 〃 ・ 〃	33.8× 40.6	1950年	
51	瀧	〃 ・ 〃 ・ 〃	59.6× 22.5	〃	（石水博物館蔵）
52	山峡孤松圖	〃 ・ 〃 ・ 〃	26.6× 47.1	〃	（ 〃 ）
53	（扇面秋果圖）	紙本・墨画彩色・軸装	19.0× 52.5	1950年頃	
54	晴れゆく朝霧	紙本・墨画・軸装	133.1× 41.0	1951年	1951年阪急合同展 （石水博物館蔵）
55	春 溪	〃 ・ 〃 ・ 〃	110.5× 32.0	〃	1951年阪急合同展 （石水博物館蔵）

56	叭々鳥圖	紙本・墨画淡彩・軸装	44.5×	60.1	1951年	(石水博物館蔵)
57	初夏の瀧	紙本・墨画・軸装	66.4×	44.1	〃	
58	雲嶺潺流	〃・〃・〃	66.0×	30.7	〃	
59	層巒積翠圖	〃・〃・〃	58.9×	46.6	〃	
60	梅花書屋圖	紙本・墨画淡彩・軸装	43.1×	42.9	1951年頃	
61	蓬萊僊境圖	〃・〃・〃	131.3×	45.2	1952年	
62	面河溪	紙本・墨画・軸装	43.3×	50.8	〃	
63	秋江遊禽圖	〃・〃・〃	35.2×	55.0	〃	(石水博物館蔵)
64	夕映の山	〃・〃・〃	29.6×	51.6	〃	(〃)
65	高原錦繡圖	〃・墨画彩色・〃	28.5×	62.1	1952年秋	
66	初夏山徑圖	〃・〃・〃	45.8×	55.0	1952年	1957年米国展
67	絶巖晚秋圖	〃・〃・〃	35.5×	54.5	1953年	1953年壺中居合同展(石水博物館蔵)
68	金剛飛泉圖	〃・〃・〃	51.6×	30.7	〃	
69	山光澄清圖	紙本・墨画・軸装	31.2×	23.2	〃	
70	初夏雨晴圖	紙本・墨画彩色・軸装	30.1×	43.0	1954年	
71	早春の山	〃・〃・〃	31.4×	51.5	〃	
72	紀北の山	〃・〃・〃	31.2×	56.5	〃	
73	新秋の山	〃・〃・〃	58.2×	30.1	〃	
74	峰巒幽潤圖	紙本・墨画・軸装	60.4×	26.3	〃	
75	江山雨季圖	紙本・墨画彩色・軸装	30.0×	62.3	〃	1960年加筆
76	山光清澄圖	〃・〃・〃	31.3×	59.2	1954年10月	
77	暁の山	〃・〃・〃	28.1×	25.7	1954年12月	
78	晚秋の山	〃・〃・〃	29.0×	38.5	1955年2月	
79	背山遠望	〃・〃・〃	34.3×	56.1	1955年10月	
80	嵐光清暁圖	〃・〃・〃	27.5×	43.4	1955年	
81	夏山幽潤圖	〃・〃・〃	27.3×	33.7	〃	
82	江山幽潤圖	〃・〃・〃	55.2×	30.3	〃	
83	鎮守の森	〃・〃・額装	35.4×	45.6	〃	1955年丸栄個展
84	老松叭々鳥圖	〃・〃・軸装	36.1×	44.1	1953年 ~1955年頃	
85	峰巒雨霽圖	〃・墨画・〃	34.2×	60.7	〃	
86	断崖圖	〃・〃・〃	62.2×	39.8	〃	
87	(断崖圖)	〃・墨画彩色・〃	40.4×	22.3	〃	
88	那瀑圖	〃・〃・〃	36.3×	24.5	〃	
89	夏山雨後圖	〃・〃・〃	27.4×	24.6	〃	
90	(瀧 圖)	〃・〃・〃	63.8×	34.2	〃	
91	春光圖	〃・〃・〃	37.0×	56.3	1956年	{ 1956年土橋画廊個展 1957年米国展
92	夏山暁色圖	〃・〃・〃	66.3×	31.0	〃	{ 1956年壺中居個展 1957年米国展
93	初 秋	〃・〃・額装	37.2×	28.6	〃	1957年米国展
94	秋山雨意	〃・〃・〃	24.9×	34.2	〃	1956年壺中居個展
95	青山溪流圖	〃・〃・〃	39.2×	53.8	〃	
96	新 樹	〃・〃・〃	28.2×	31.7	〃	1956年壺中居個展
97	静 物	〃・〃・〃	30.0×	50.3	〃	
98	青葉の山	〃・〃・〃	31.2×	37.7	〃	{ 1956年壺中居個展 1957年米国展
99	秋山晴霽圖	〃・〃・軸装	39.6×	32.9	〃	
100	澗聲出峽圖	〃・〃・〃	37.9×	47.2	1957年	

101	泉聲出峽圖	絹本・墨画彩色・軸装	39.5×	47.9	1957年	1957年米国展
102	江山暮春圖	〃・〃・〃	62.3×	33.1	〃	〃
103	晚秋圖	〃・〃・〃	29.3×	44.9	〃	〃
104	朝 霧	〃・〃・額装	43.1×	57.5	〃	〃
105	空山無塵圖	〃・墨画・軸装	34.7×	30.0	〃	
106	夏山烟暁圖	〃・墨画彩色・〃	36.0×	56.0	〃	
107	春山晴霽圖	〃・〃・〃	32.3×	45.7	〃	
108	(山)	〃・〃・額装	22.6×	31.4	〃	
109	層巒澄秋圖	〃・〃・軸装	58.4×	22.2	〃	
110	峻峯明麗	〃・〃・額装	48.5×	31.8	1958年春	
111	暮山平林圖	〃・〃・軸装	38.9×	51.2	1958年	
112	満山秋色圖	〃・〃・〃	40.4×	51.4	〃	
113	初秋の山	〃・〃・〃	32.5×	45.6	〃	
114	初秋圖	〃・〃・〃	66.5×	32.5	〃	1959年高島屋個展
115	叭々鳥圖	〃・墨画淡彩・軸装	28.0×	38.9	1959年春	
116	遠山不尽	〃・墨画彩色・額装	33.2×	40.7	1959年	
117	連山平遠	〃・墨画・〃	38.9×	49.6	〃	
118	山湖春霽圖	〃・〃・軸装	29.8×	45.0	〃	
119	冬山蕭條	〃・墨画彩色・軸装	38.9×	32.5	〃	1959年高島屋個展
120	深秋図	〃・〃・〃	35.6×	43.3	〃	〃
121	秋山晴霽圖	〃・〃・〃	24.8×	39.9	〃	
122	秋山流水圖	〃・〃・〃	37.7×	53.7	〃	
123	蒼山静處圖	〃・〃・〃	32.7×	53.6	〃	
124	秋山晴霽圖	〃・〃・〃	52.2×	33.5	〃	
125	白雲流水圖	〃・〃・〃	26.9×	46.7	〃	
126	江山初夏圖	〃・〃・〃	47.0×	57.5	〃	
127	深秋圖	〃・〃・〃	22.3×	34.0	1955年 ~1959年頃	
128	深 秋	〃・〃・額装	41.1×	37.8	〃	
129	江山清趣	〃・〃・〃	47.3×	33.5	〃	
130	春山雲雲圖	〃・〃・軸装	67.1×	39.9	〃	
131	山徑秋酣圖	〃・〃・〃	60.7×	31.4	〃	
132	慶山晴霽圖	〃・〃・〃	63.7×	31.3	〃	
133	峰巒秋光圖	〃・〃・〃	31.9×	41.0	〃	
134	冬枯の山	〃・〃・〃	29.2×	49.6	〃	
135	峻峰秋霽圖	〃・〃・〃	23.3×	29.8	〃	
136	(山)	〃・〃・〃	36.1×	49.0	〃	
137	初夏峰巒圖	〃・〃・〃	58.1×	30.6	〃	
138	(山)	〃・〃・額装	28.4×	32.4	〃	
139	晚 夏	〃・〃・〃	32.2×	44.9	〃	
140	(山)	〃・〃・〃	35.2×	64.0	〃	
141	(山)	〃・墨画・〃	23.7×	47.3	〃	
142	雲烟自来	〃・墨画淡彩・〃	33.2×	45.3	1960年	
143	晚春嶺山圖	〃・墨画彩色・〃	32.1×	26.2	〃	
144	山峽池畔	〃・墨画・額装	44.4×	56.5	〃	(本館蔵)
145	春らんまん	〃・〃・〃	43.9×	52.9	〃	

146	春山清流圖	絹本・墨画彩色・軸装	30.2× 42.0	1960年
147	初夏山峽	〃・〃・額装	32.7× 41.1	〃
148	秋 酣	〃・〃・軸装	31.0× 388.8	1961年
149	(山 水)	〃・墨画・額装	93.8× 36.9	〃
150	錦 秋	〃・墨画彩色・〃	58.9× 31.11	〃
151	那智の瀧	〃・〃・〃	51.6× 30.9	〃

○ 上記の他 縮図・下絵・デッサン・遺品などを展示した。

○ 企画展 「館蔵作品展—新収蔵作品を中心として—」

会 期 1月10日～2月11日(毎週火曜日休館)

53年度新収蔵作品の紹介を兼ね、館蔵作品及び寄託作品のうち41点を展覧した。(入場者2,518人)

出品目録

No.	作 者	作 品 名	材 質 ・ 形 状	寸 法	制作年
1	石垣栄太郎	拳 闘	油彩・キャンバス	75.0× 91.0	1925
2	鹿子木孟郎	パイプを持つ男	〃	79.5× 64.0	1906
3	川口軌外	少女と貝殻	〃	159.0× 267.0	1934
4	〃	夏の海	〃	166.0× 226.5	1940
5	木下孝則	赤衣の女	〃	71.5× 51.0	1934
6	〃	女優の像	〃	91.0× 73.0	1926
7	木下義謙	赤衣半身像	〃	91.0× 73.0	1931
8	〃	ぶじざくらの下にて	〃	112.0× 145.5	1938
9	須田国太郎	風 景	〃	79.5× 64.0	1906
10	高井貞二	影	〃	114.3× 127.2	1958
11	〃	食 う	〃	162.7× 132.0	1958
12	〃	夢のかたち	〃	132.0× 162.0	1959
13	〃	情 熱	〃	127.0× 127.0	1959頃
14	〃	赤い魚	〃	127.3× 127.0	1965
15	〃	ゼブラ	〃	126.8× 127.0	1965頃
16	建島覚造	地 層	ポリエステル	H135	1951
17	〃	CHIMNEY BOTTLES	ステンレス	65×66×20	1970
18	〃	NIGHT WATCH	〃	60× 130×70	1974
19	〃	D I S K 4	〃	60× 150×90	1977
20	建島大夢	おゆのつかれ	ブロンズ	H67	1913
21	〃	恩師の顔	〃	H35	1939
22	浜口陽三	ジプシー	メゾチント・紙	29.0× 29.0	1954
23	〃	スペイン風油入れ	〃	28.5× 28.5	〃
24	〃	うさぎ	カラーメゾチント・紙	29.0× 29.0	1955
25	〃	ぶどうの房	メゾチント・紙	29.5× 32.5	1957
26	〃	雲	〃	49.0× 26.0	1958
27	〃	緑のぶどう	カラーメゾチント・紙	24.5× 19.5	〃
28	〃	19のさくらんぼと1つのさくらんぼ	〃	23.5× 53.5	1965
29	〃	さくらんぼと青い鉢	〃	29.0× 33.0	1976
30	原 勝四郎	小 湾	油彩・ボール紙	70.0× 82.0	1940
31	日高昌克	層巒秋霽圖	紙本・墨画彩色	37.4× 51.1	1950
32	〃	春霞遙曳圖	〃	29.0× 63.0	1953

33	日高昌克	林塘早春圖	紙本・墨画彩色	43.6× 50.0	1957
34	〃	夏山雨後圖	〃	40.5× 45.5	〃
35	村井正誠	URBAIN No.1	油彩・キャンバス	110.0× 191.0	1936
36	保田春彦	階段のある広場 SIRCUSA	ステンレス	75×75× 6	1973
37	〃	階段のある広場 TAORMINA	〃	75×75× 6	〃
38	保田龍門	老婦人	油彩・キャンバス	66.5× 44.5	1921頃
39	〃	アンドレの首	ブロンズ	H19	1922
40	〃	裸婦立像	〃	H170	1925
41	〃	うづくまる女	〃	H35	1947頃

○ 神中糸子と工部美術学校展

会 期 2月24日～3月21日(毎週火曜日休館) (入場者1,266人 / 有料1,003人)

主 催 和歌山県近代美術館

我が国最初の女子画学生の1人として工部省工学寮美術学校(工部美術学校)に入学し、本格的な美術教育を受けると共に女流洋画家の草分けとして活躍した神中糸子(1860年和歌山市生まれ)の画業を探り、併せて日本洋画黎明期における工部美術学校の果たした役割及び明治初期の洋画壇を紹介した。

出品目録

No.	作 者	作 品 名	材 質 ・ 形 状	寸 法	制作年
1	神中糸子	飯田町風景	紙・鉛筆	18.6× 23.9	1879
2	〃	風 景	紙・鉛筆	15.4× 23.4	1878~80
3	〃	風 景(ローマ水道跡)	紙・鉛筆	12.4× 23.5	1878~80
4	〃	風 景	紙・鉛筆	13.0× 20.8	1878~80
5	〃	塔の沢風景	紙・水彩	31.0× 24.6	1887
6	〃	塔の沢風景	紙・水彩	25.0× 19.2	1888頃
7	〃	湯本風景	紙・水彩	20.8× 37.2	1887~88頃
8	〃	海浜風景	キャンバス・油彩	37.8× 67.3	1888~92頃
9	〃	海岸風景	〃・〃	38.0× 80.4	1888~92頃
10	〃	揖保川風景	〃・〃	47.0× 64.5	1888~92頃
11	〃	はるの像(少女之図)	〃・〃	83.5× 64.0	1894頃
12	〃	夏の像	〃・〃	32.2× 22.0	
13	〃	つつじ	板・油彩	23.6× 33.0	
14	〃	野菜とイチゴとナシ	〃・〃	23.3× 33.2	
15	〃	ブドウとナシ	〃・〃	23.6× 33.0	
16	〃	滝の川風景	紙・水彩	14.9× 9.6	1895
17	〃	風 景	〃・〃	16.3× 24.0	1895頃
18	〃	塩原の溪谷	〃・〃	37.6× 24.0	1897
19	〃	小 菊	〃・〃	27.1× 24.2	1910~14
20	〃	三色すみれ	〃・〃	27.1× 24.2	1910~14
21	〃	有馬温泉風景	〃・〃	32.2× 21.2	1918
22	〃	妙義山風景	〃・〃	19.3× 32.2	1918
23	〃	風 景	〃・〃	21.2× 32.2	1918頃
24	〃	風 景	〃・〃	21.2× 32.3	1922
25	〃	風 景	カルトン・油彩	23.4× 33.0	1923頃
26	〃	吉野山風景	キャンバス・油彩	80.5× 116.5	1924
27	〃	静 物	〃・〃	50.0× 60.5	1915~17

28	神中糸子	ダリア	キャンバス・油彩	60.0×	45.3	1915~25
29	"	牡丹	"	46.0×	61.0	1915~25
30	"	牡丹	"	50.4×	61.0	1915~25
31	"	神中正雄像	"	23.9×	32.8	1915~25
32	"	牡丹	板・油彩	24.1×	32.3	1915~25
33	"	牡丹	紙・油彩	27.1×	24.3	1915~25
34	"	牡丹	"	27.1×	24.1	1915~25
35	"	風景	キャンバス・油彩	14.2×	24.0	1915~25
36	"	南天	紙・油彩	21.1×	18.1	1915~25
37	"	風景	紙・水彩	21.2×	32.3	1915~25
38	"	静物	"	21.4×	15.1	1915~25
39	"	風景	"	16.2×	24.4	1915~25
40	"	風景	"	20.0×	22.7	1915~25
41	"	風景	"	15.0×	20.3	1915~25
42	"	風景	紙・クレヨン	16.2×	24.5	1915~25
43	"	風景	紙・水彩	11.0×	16.5	1915~25
44	"	風景	"	27.2×	24.1	
45	"	牡丹と蝶	"	27.2×	24.3	1940
46	"	葡萄	"	27.2×	24.2	1940頃
47	"	葡萄	"	27.1×	24.3	1940頃
48	"	ふじ	"	27.2×	24.3	1940頃
49	"	富士	"	27.2×	24.0	1940頃
50	"	つつじ	"	27.2×	24.1	1940頃
51	フォンタネージ	神女図(壁画画稿)	紙・木炭、チョーク	148.0×	92.0	1876~78頃
52	"	風景	紙・コンテ	14.0×	21.5	
53	"	水遊び	"	16.5×	22.5	
54	"	建築物写生方式	紙・水彩	19.0×	25.0	
55	作者不詳 (工部美術学校生徒)	風景(ローマ水道跡)	紙・鉛筆	14.0×	25.9	1877頃
56	"	水辺風景	"	15.8×	21.2	1877頃
57	"	風景	"	21.2×	28.8	1877頃
58	"	風景	"	21.0×	28.7	1877頃
59	"	風景	"	15.0×	9.6	1877頃
60	"	風景(2人の人物のいる風景)	"	22.0×	13.5	1877頃
61	"	風景(廃址)	"	17.5×	24.0	1877頃
62	"	風景(円蓋のみえる風景)	"	24.0×	13.7	1877頃
63	"	風景(牧牛のいる風景)	"	18.5×	25.5	1877頃
64	"	風景	紙・コンテ	12.5×	11.0	1877頃
65	"	風景	紙・鉛筆	20.5×	16.3	1877頃
66	"	風景	"	15.0×	19.3	1878頃
67	"	風景	"	12.7×	16.5	1878頃
68	"	右腕	"	59.5×	46.0	1878頃
69	浅井 忠	風景	"	15.1×	18.7	1877頃
70	"	豚小屋	紙・木炭	26.7×	23.3	1878頃
71	"	風景	紙・コンテ	17.0×	25.7	1879
72	五姓田 義松	老母像	キャンバス・油彩	19.5×	12.5	1871頃

73	五姓田 義松	少女像	キャンバス・油彩	20.5×	12.5	1872頃
74	"	箱根木賀全景	紙・水彩	27.0×	37.2	1872~77頃
75	"	自画像	"	19.2×	30.1	1872~77頃
76	"	山と洋館	"	25.3×	32.0	1872~77頃
77	"	横浜西太田の村落	"	17.5×	42.5	1872~77頃
78	"	農家庭先	"	17.9×	23.7	1872~77頃
79	"	木立	"	18.9×	11.2	1872~77頃
80	"	田園風景	"	16.7×	31.6	1872~77頃
81	"	市ヶ谷八幡宮拝殿図	"	19.2×	29.6	1872~77頃
82	"	三味線を弾く人物	"	22.8×	14.9	1872~77頃
83	"	横浜高島町戯場	"	18.2×	45.1	1872~77頃
84	"	一ツ橋風景	紙・油彩	24.0×	33.1	1877
85	"	清水の富士	キャンバス・油彩	58.0×	100.1	1881
86	"	I氏幼年時代の像	"	46.5×	38.0	1882
87	"	家族の図	紙・水彩	23.5×	36.0	
88	"	少年像	紙・木炭	65.0×	48.1	
89	守住勇魚	工部大学校風景	紙・鉛筆	16.2×	22.6	1876~78頃
90	"	風景	"	11.9×	18.0	1876~78頃
91	"	風景	"	18.7×	14.4	1876~78頃
92	"	風景	"	15.0×	17.8	1876~78頃
93	"	滝	紙・水彩	27.8×	20.4	1876~78頃
94	"	犬と羊	"	20.5×	27.7	1876~78頃
95	"	法師のいる風景	"	22.9×	34.9	1876~78頃
96	"	子供のいる風景	"	18.2×	24.8	1876~78頃
97	"	風景	"	27.8×	20.4	1876~78頃
98	"	棒を持つ男	紙・鉛筆	17.0×	23.6	1876~78頃
99	"	教室風景	"	22.7×	29.0	1876~78頃
100	"	教室風景	"	19.7×	29.8	1876~78頃
101	"	教室風景	"	22.4×	18.8	1876~78頃
102	"	新橋駅風景	紙・水彩	21.0×	30.3	1876~78頃
103	"	風景	"	22.9×	28.5	1876~78頃
104	"	人物	"	18.2×	25.0	1876~78頃
105	"	風景	紙・鉛筆	26.2×	17.5	1876~78頃
106	"	人物(スケッチ)	"	29.2×	39.0	1876~78頃
107	"	人物(スケッチ)	"	29.2×	39.0	1876~78頃
108	"	人物(スケッチ)	"	29.2×	39.0	1876~78頃
109	"	人物(スケッチ)	"	29.2×	39.0	1876~78頃
110	"	人物(スケッチ)	"	29.2×	39.0	1876~78頃
111	"	猫	紙・鉛筆・ペン	22.7×	27.0	1878
112	"	茶瓶	カルトン・油彩	25.1×	31.9	1878頃
113	"	風景	"	24.1×	32.0	1878頃
114	"	バラ	"	32.0×	24.1	1878頃
115	"	花と本	"	18.4×	23.3	1878頃
116	"	耕作風景	"	25.0×	34.5	1878頃
117	"	天満橋風景	紙・水彩	20.5×	28.0	1879頃

118	曾山(大野)幸彦	杵を持つ男	紙・鉛筆	59.7× 48.9	1881
119	"	不忍池	キャンバス・油彩	29.4× 43.8	1881頃
120	"	石膏像脚部	紙・コンテ	59.0× 44.9	1882
121	山本芳翠	白勢和一郎氏肖像	キャンバス・油彩	34.5× 25.7	1882~83
122	山下りん	夕陽図	紙・鉛筆	18.1× 22.8	1877頃
123	"	水遊び	"・"	13.9× 20.4	1877頃
124	"	郊外スケッチ風景	"・"	19.5× 24.3	1877頃
125	"	風景	"・"	19.1× 22.5	1877~80頃
126	"	門	"・"	22.8× 29.8	1877~80頃
127	"	風景	"・"	22.8× 29.0	1877~80頃
128	"	風景	紙・水彩	25.0× 37.2	1877~80頃
129	"	石膏デッサン	紙・鉛筆	43.8× 43.0	1877~80頃
130	"	婦人像	"・"	40.7× 27.2	1877~80頃
131	"	手	"・"	27.0× 32.5	1877~80頃
132	"	墓地	"・"	16.8× 17.5	1878頃
133	"	塔の沢風景	キャンバス・油彩	34.0× 26.3	1888頃
134	秋保 園	樹木	紙・鉛筆	29.0× 40.7	1880
135	藤 雅三	兵士午睡図	"・"	29.0× 45.5	1877頃
136	市川敬二郎	風景	"・"	12.6× 16.3	1878頃
137	岡見僊吉郎	牛	"・"	46.0× 30.0	1882
138	金沢正次	彫刻装飾模様	"・"	56.5× 38.0	1877
139	熊谷虎吉	樹木	"・"	42.0× 52.0	1880
140	竹下富二郎	寺院内墓碑	紙・水彩	46.3× 30.8	1880頃
141	堀江正章	石膏像脚部	紙・コンテ	57.2× 43.7	1879~1882
142	林 蒔	草花模様レリーフ	紙・鉛筆	43.0× 59.4	1880~1882
143	上杉熊松	風景	"・"	38.0× 55.7	1880
144	岡木辰五郎	イリソス(模写)	"・"	45.8× 59.8	1882
145	松尾徳太郎	西洋婦人図	"・"	59.4× 45.3	1882
146	ワーグマン	下仁田風景	紙・水彩	23.5× 30.2	1870
147	"	宿場	キャンバス・油彩	35.0× 62.0	1872頃
148	"	街道	"・"	35.0× 62.0	1872頃
149	五姓田芳柳	西洋老婦人像	絹・油彩	58.0× 50.0	
150	高橋由一	左官	キャンバス・油彩	31.0× 42.0	1873~76
151	"	江島図(江島全景)	"・"	46.0× 160.0	1873~76
152	"	読本と草紙	"・"	36.3× 51.8	1875~76
153	"	本牧海岸	"・"	58.5× 120.0	1877
154	"	墨堤桜花	"・"	65.1× 118.1	1877
155	"	川鱒図	板・油彩	94.0× 29.0	1884
156	本多錦吉郎	中禅寺湖夜景	キャンバス・油彩	39.0× 60.0	1880頃
157	"	静物	"・"	33.4× 45.4	
158	川村清雄	風景	"・"	23.0× 50.0	
159	田村宗立	東山雪景図	紙・油彩	32.0× 45.0	
160	床次正精	三田製紙所	キャンバス・油彩	90.0× 120.0	1880
161	守住勇魚資料	画帖・スケッチ・教本など			
162	神中糸子資料	短冊・画帖・画稿・印章など			

3. 共催展覧会

○ 第16回和歌山県美術家協会展

和歌山県美術家協会々員による総合美術展
 会期 第1期=7月6日~10日(洋画、彫塑、写真、現代造形) 第2期=7月13日~17日(生花、書、日本画、工芸)
 主催 和歌山県美術家協会、和歌山県立近代美術館 / 後援 朝日新聞和歌山支局、和歌山県立近代美術館友の会

○ 第32回和歌山県美術展覧会「県展」

県民の美術に関する愛好心と鑑賞力を啓発し、創作意欲の昂揚をはかり、本県における美術文化の向上発展に資するために開催する公募展(第11回県民文化祭参加)
 会期 第1期=11月16日~20日(生花、書、現代造形)
 第2期=11月23日~27日(日本画、工芸、写真)
 第3期=11月30日~12月4日(洋画、彫塑)
 新宮展=12月15日~17日(各部門選抜/生花を除く) 会場 新宮市民会館
 主催 和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、毎日新聞和歌山支局 新宮市教育委員会(新宮展)
 主管 和歌山県美術家協会 / 後援 和歌山県 新宮市(新宮展)

応募点数・入選(入賞)点数・展示点数 (本展)

部門	区分		応募点数		入選点数		入賞点数				無鑑査以上の出品数				総展示点数	
	31回展	32回展	31回展	32回展	特選賞	奨励賞	無鑑査	招待	審査員	31回展	32回展	31回展	32回展	31回展	32回展	
生花	26	26	25	26	4	4	1	1	1	2	7	5	6	10	39	43
現代造形	25	19	17	19	4	4	1	1	2	1	0	2	5	5	24	27
書	165	158	130	130	4	4	9	9	22	22	21	20	17	15	190	187
日本画	64	73	63	67	4	4	3	4	12	7	6	7	11	11	92	92
工芸	110	69	44	51	4	4	4	3	2	3	8	7	7	7	61	68
写真	334	303	150	141	4	4	9	9	9	5	5	5	11	11	175	162
洋画	375	329	132	140	4	4	12	11	27	25	33	30	21	21	213	216
彫塑	39	32	33	32	4	4	2	2	2	2	3	4	6	6	44	44
計	1,138	1,009	594	606	32	32	41	40	77	67	83	80	84	86	838	839

(新宮地方展)

部門	区分		入選		入賞		無鑑査		招待		審査員		合計	
	31回展	32回展	31回展	32回展	31回展	32回展	31回展	32回展	31回展	32回展	31回展	32回展	31回展	32回展
日本画	4	9	6	8	1	1	0	0	10	10	21	28		
洋画	26	31	14	15	4	5	4	3	21	20	69	74		
彫塑	0	0	3	3	0	1	0	0	3	4	6	8		
工芸	0	0	1	3	0	0	0	0	1	1	2	4		
書	11	11	13	13	5	5	1	2	17	15	47	46		
写真	9	5	13	13	2	1	1	1	11	11	36	31		
現代造形	0	0	2	4	1	0	0	0	4	2	7	6		
計	50	56	52	59	13	13	6	6	67	63	188	197		

○ 第13回和歌山県立近代美術館友の会展

和歌山県立近代美術館友の会活動の一環として、各実技講座で制作した作品等によるアマチュアの総合美術展
 会期 2月15日~19日(洋画、日本画、写真、陶芸)
 主催 和歌山県立近代美術館友の会、和歌山県立近代美術館 / 後援 和歌山県美術家協会

4. 貸館展覧会

会 期	名 称	概 要	展 示 室
3月31日～4月3日	大東文化大学和歌山県人書展	書／大東文化大学和歌山県人グループ	一般展示室
4月6日～4月10日	第38回国際写真サロン展	写真／朝日新聞社など主催の巡回展	一般展示室
6日～10日	第29回和歌山市医師会美術展	絵画・書・工芸／和歌山市医師会グループ	大展示室
6日～10日	東紅会書展	書／女性同好グループ	中展示室
6日～10日	勝和会水墨画展	水墨画／同好グループ	小展示室
13日～17日	アトリエオノ展	絵画／小野教治主宰	一般展示室
13日～17日	陸林会展	日本画／陸林会	大展示室
13日～17日	グラフィティ・ノート発足展	イラスト・デザイン／市立和歌山商業 高等学校商業デザイン科OBグループ	中展示室
13日～17日	グループ「波」洋画展	洋画／グループ「波」	小展示室
20日～24日	和歌山大学絵画部4回生展	洋画／和歌山大学4回生	一般展示室
20日～24日	第25回洗心書道展	書／西林凡石門下	大／中／小
27日～5月1日	第14回葵フォトグループ写真展	写真／亀忠男主宰	一般展示室
5月4日～8日	第7回集団「光」写真展	写真／集団「光」	一般展示室
11日～15日	黎明クラブ写真展	写真／明楽光三郎主宰	一般展示室
18日～22日	和歌山大学絵画部2・3回生展	洋画／和歌山大学2・3回生	一般展示室
18日～22日	エトアール洋画展	洋画／エトアール洋画会	大展示室
18日～22日	第43回木国写真友会展	写真／島村安彦主宰	中展示室
18日～22日	グループ「しつ」展	漆芸／漆芸同好グループ	小展示室
25日～28日	第三文明展	絵画・彫刻・書／中央展作品（選抜）	全館
6月1日～6月5日	示現会和歌山巡回展	洋画／中央展選抜作品と支部会員作品	全館
8日～12日	第10回有人クラブ写真展	写真／駒木根紅花主宰	一般展示室
8日～12日	オール関西フォトグループ展	写真／関西在住写真家グループ	一般展示室
15日～18日	和菫会書展	書／県立和歌山商業高校書道部OB	一般展示室
21日～25日	第27回和歌山市展 第I期	日本画・書・工芸・生花／公募展	全館
28日～7月2日	第27回和歌山市展 第II期	洋画・彫塑・写真／公募展	全館
7月20日～24日	第8回洋画12人展	洋画／同好グループ	一般展示室
20日～24日	童山会日本画・俳画展	日本画・俳画／古村徹三主宰	大展示室
20日～24日	第3回花王石鹼写真絵画合同展	写真・絵画／花王石鹼同好グループ	中展示室
20日～24日	第3回和歌山ステーション絵画 教室小品展	洋画／和歌山ステーション絵画教室	小展示室
27日～31日	第31回和歌山県書道協会展	書／和歌山県書道協会	一／中／小
27日～31日	第8回壺魯会習作書展	書／大岡皓崖主宰	大展示室
8月3日～8月7日	グループプリミティブ美術展	絵画、デザイン／和歌山県出身美大生	一般展示室
3日～7日	グループ形成展	洋画／同好グループ	大展示室
3日～7日	第32回青甲会展	洋画／青甲会	中展示室
3日～7日	律の会洋画展	洋画／齋田武夫主宰	小展示室
10日～14日	秀蘭会10周年記念展	日本画／寺口関山主宰	一般展示室
10日～14日	書人会同人展	書／書人会同人	大展示室
10日～14日	星墨会展	書／星林高等学校書道部OBグループ	中展示室
10日～14日	第1回県庁洋画クラブ作品展	洋画／県庁洋画クラブ	小展示室

8月17日～21日	グループ旺美洋画展	洋画／和歌山成人学校絵画教室OB	一般展示室
17日～21日	ドローイング展	素描／日高高等学校OBグループ	大展示室
17日～21日	第5回県立海南高校OB美術展	絵画／県立海南高校OB美術グループ	中展／小展
24日～28日	県下高校教員美術展	洋画、彫塑／県下高等学校美術教員	一般展示室
24日～28日	第10回絵画サークル「樹」展	洋画／絵画サークル「樹」	大展示室
24日～28日	ひまわり展	洋画／県警察職員絵画グループ	中展示室
24日～28日	毎日文化教室洋画部展	洋画／毎日文化教室洋画部	小展示室
31日～9月3日	第7回和歌山版画協会展	版画／和歌山版画協会	中展示室
31日～4日	紀州美術会展	洋画／紀州美術会	一般展示室
31日～4日	第4回和興会展	書／山本興石主宰	小展示室
9月7日～10日	第11回和歌山県勤労者美術展	日本画等7部門／勤労者による公募展	全館
14日～18日	紙人形展	紙人形／グループたちばな	一般展示室
14日～18日	第25回和歌山文化協会展	絵画、書、写真、生花／和歌山文化協会	大展示室
14日～18日	「彩・美」グループ展	洋画／新世紀美術和歌山グループ	中展示室
14日～18日	松本奉山水墨画会酒井大山塾展	水墨画／松本奉山水墨画会酒井大山塾	小展示室
27日～10月2日	和歌山県いけばな協会展	生花／和歌山県いけばな協会	全館
11月2日～11月6日	県俳画協会展	俳画／県俳画協会	一般展示室
12月7日～12月11日	「紀州の素顔」写真展	写真／全日本写真連盟和歌山支部	一般展示室
7日～11日	ACT展	洋画／中学校美術教員グループ	中展示室
7日～11日	手あみ手芸作品展	手芸／綾部道代手あみ手芸教室	小展示室
14日～18日	県下高校総合芸術祭美術展	絵画、彫塑／県高校教育研究会美術部会	一／中／小
14日～18日	和歌山大学絵画部展	洋画／和歌山大学絵画部	大展示室
21日～25日	県下高校総合芸術祭書道展	書／県高校書道教育研究会	一／中／小
1月5日～1月8日	示現会和歌山支部小品展	洋画／示現会和歌山支部	一般展示室
11日～15日	第8回オークレイ展	絵画／田中善弘主宰	一般展示室
11日～15日	紀鷲会美術展	洋画／紀鷲会	中展示室
18日～22日	新構造社和歌山支部展	洋画／新構造社和歌山支部	一展／小展
18日～22日	県高校書道科教員展	書／県高校書道教育研究会	中展示室
25日～29日	市和商展・市和商商業デザイン 科卒業制作展	商業デザイン、写真、絵画、生花他	一展／小展
25日～29日	和墨展	書／和歌山大学書道部	中展示室
2月1日～2月5日	第27回県下高校商業美術展	ポスター、デザイン／県商業教育研究会	一般展示室
1日～5日	木曜画用紙作品展	水彩画／千間薫主宰	中展示室
1日～5日	スポーツ写真展	写真／和歌山県体育協会	小展示室
8日～12日	日中きりえ・きり紙展	きりえ、きりがみ／日中きり紙同好会	一般展示室
8日～12日	東洋魚拓拓正会展	拓画／東洋魚拓拓正会	中展示室
8日～12日	つくしの会展	洋画／前田博主宰	小展示室
15日～19日	和歌山日曜画家展	洋画／和歌山日曜画家グループ	一般展示室
22日～26日	第1回土と炎の会展	陶芸／陶芸同好グループ	一般展示室
3月1日～3月5日	和歌山大学卒業制作展	洋画、彫塑、陶芸／和歌山大学	一般展示室
8日～12日	大東文化大学和歌山県人書道展	書／大東文化大学和歌山県人グループ	一般展示室
22日～26日	ヴェル展	洋画／和歌山放送絵画教室	一般展示室

5. 普及活動

○「美術館だより」

「美術館だより」は館の広報紙として、館主催及び共催展示会の紹介と解説、美術に関する論文及び随筆、友の会行事案内、活動報告、和歌山の美術文化関係ニュース、各種美術展だより等を掲載。毎月1日発行。発行部数は2,000部。

号	発行月日	主要記事
148号	4月1日	昭和52年度新収蔵作品紹介
149号	5月1日	離任ごあいさつ(堀亨) 就任ごあいさつ(片山伴蔵) 企画展「洋画・彫刻・版画の世界」紹介 春の洋画写生大会
150号	6月1日	移動美術館開催にあたって 紀州と美術風土(和高伸二) 150号によせて(南川諄一) ダブルエラーの初仕事(野口照彦) 県美術家協会展 県美術家協会役員改選
151号	7月1日	伝承への挑戦(和高伸二) 「藪原」につき記す(木下義謙) 県展役員紹介
152号	8月1日	日高昌克の人と作品(岩崎真澄) 第32回県展開催要項 新宮地方展運営委員紹介

○「友の会活動」

県立近代美術館友の会はアマチュアのアート愛好家で組織し、県民の美的素養の向上に寄与する活動を行っている。昭和40年10月発足。現会員数は896人(一般会員828人 賛助会員68人)。(註 行事名、期日、〈テーマ〉、講師、参加人員の順に記載。)

〔美術鑑賞講座〕	
4月17日	〈観心寺の文化財見学〉 仲田耕三 22人
5月14日	〈企画展「洋画、彫刻、版画の世界」について〉 三木哲夫 17人
6月11日	〈粉河寺の文化財見学〉 逸木盛修 11人
7月16日	〈根来寺の文化財見学〉 仲田耕三 17人
10月22日	〈「日高昌克展」を観る〉 三木哲夫 32人
11月19日	〈「紀州の絵馬展」を観る〉 梅原孝雄 25人
1月14日	〈新資料の紹介〉 和高伸二 20人
2月25日	〈「神中糸子と工部美術学校展」を観る〉 仲田耕三 11人

153号	9月1日	日高昌克展に寄せる(池田壽一) 美協展と私感(齋田武夫) 「古都の名刹めぐり」参加者募集 「初秋の志原海岸を描く」参加者募集
154号	10月1日	日高昌克の芸術生涯(三木哲夫)
155号	11月1日	神中糸子と工部美術学校(仲田耕三) 第32回県展全日程表
156号	12月1日	第32回県展栄光の記録 秋の叙勲と県文化表彰紹介
157号	1月1日	美術文化へ貧者の一燈を(片山伴蔵) 年頭所感(玉井一郎) 魅力と強さのある仕事(齋田武夫) 神中糸子の画業(仲田耕三) 企画展「館蔵作品展—新収蔵作品を中心として—」 「古都の名刹めぐり」に参加の記(前田真) 館主催(共催)展案内
158号	2月1日	晩年における伯母神中糸子(門田正子) 県立近代美術館友の会展
159号	3月1日	「神中糸子と工部美術学校展」について(仲田耕三)

3月18日	〈「桑山玉州展」を観る〉 仲田耕三 12人	〔洋画実技講座〕
4月9日	〈田園風景を描く〉 山東好雄 42人	
5月28日	〈写生大会〉 浜田邦男 仙石光重 52人	
6月18日	〈海岸風景を描く〉 若林昌峰 39人	
7月23日	〈睡蓮を描く〉 仁科実 45人	
8月27日	〈夏の高野山を描く〉 中島久次 32人	
9月16日~17日	〈志原海岸を描く〉 益山英吾 19人	
10月22日	〈秋の根来寺を描く〉 山本龍昇 30人	
11月19日	〈築港風景を描く〉 倉田純三 41人	
12月10日	〈人形のある静物画〉 小川英夫 22人	
1月14日	〈果物のある静物〉 松下英雄 41人	
2月11日	婦人像を描く 宮村泰彦 32人	
3月18日	〈静物画〉 八幡三郎 36人	
		〔日本画実技講座〕
4月23日	〈風景画の写生(仕上げ)〉 青木虹興 32人	

5月14日	〈写生の基本と制作〉 古村徹三 40人	4月16日	〈電動ロクロによる陶芸作品制作〉 柏井良夫 4人
6月11日	〈写生の基本と制作〉 古村徹三 38人	4月22日	〈焼成〉 山本学 20人
7月23日	〈写生の基本と制作〉 古村徹三 39人	5月7日	〈手造りによる陶芸作品制作〉 山本学 18人
8月20日	〈写生の基本と制作〉 古村徹三 30人	5月14日	〈電動ロクロによる陶芸作品制作〉 柏井良夫 7人
9月17日	〈和歌山城附近の写生〉 古村徹三 30人	5月27日	〈焼成〉 山本学 23人
10月15日	〈和歌山城附近の写生〉 古村徹三 13人	6月4日	〈手造りによる陶芸作品制作〉 山本学 22人
11月23日	〈山水画の基本〉 寺口関山 55人	6月18日	〈電動ロクロによる陶芸作品制作〉 柏井良夫 10人
12月24日	〈山水画の基本〉 寺口関山 42人	6月24日	〈焼成〉 山本学 30人
1月14日	〈山水画の基本〉 寺口関山 46人	7月9日	〈手造りによる陶芸作品制作〉 山本学 25人
2月18日	〈山水画の基本〉 寺口関山 44人	7月16日	〈電動ロクロによる陶芸作品制作〉 柏井良夫 6人
3月18日	〈岡公園の滝を描く〉 寺口関山 32人	7月29日	〈焼成〉 山本学 30人
	〔写真実技講座〕	9月10日	〈手造りによる陶芸作品制作〉 山本学 27人
4月9日	〈モデル撮影会〉 全写連県本部委員 15人	9月17日	〈電動ロクロによる陶芸作品制作〉 柏井良夫 10人
4月23日	〈月例コンテストと作品指導〉 西川高三 15人	9月23日	〈焼成〉 山本学 27人
5月14日	〈月例コンテストと作品指導〉 (午前) 駒木根紅花 12人 <<和歌山商工祭を撮る〉 (午後) 駒木根紅花 14人	10月8日	〈手造りによる陶芸作品制作〉 吉増達夫 23人
6月25日	〈月例コンテストと作品指導〉 西川高三 13人	10月15日	〈電動ロクロによる陶芸作品制作〉 柏井良夫 4人
7月30日	〈月例コンテストと作品指導〉 (午前) 西川高三 12人 <<牛と馬のある風景〉 (午後) 西川高三 12人	10月21日	〈焼成〉 吉増達夫 22人
8月20日	〈月例コンテストと作品指導〉 (午前) 西川高三 13人 <<室内照明によるモデルの撮り方〉 (午後) 西川高三 19人	1月14日	〈手造りによる陶芸作品制作〉 吉増達夫 25人
9月17日	〈月例コンテストと作品指導〉 西川高三 13人	1月14日	〈電動ロクロによる陶芸作品制作〉 柏井良夫 3人
10月15日	〈月例コンテストと作品指導〉 亀忠男 8人	1月27日	〈焼成〉 吉増達夫 24人
11月26日	〈月例コンテストと作品指導〉 亀忠男 12人	2月18日	〈手造りによる陶芸作品制作〉 吉増達夫 24人
12月10日	〈月例コンテストと作品指導〉 亀忠男 10人	2月18日	〈電動ロクロによる陶芸作品制作〉 柏井良夫 3人
1月14日	〈月例コンテストと作品指導〉 亀忠男 11人	2月28日	〈焼成〉 吉増達夫 25人
2月11日~12日	〈雪の飛騨古川、高山旧市内を撮る〉 亀忠男 23人	3月11日	〈手造りによる陶芸作品制作〉 吉増達夫 21人
2月18日	〈月例コンテストと作品指導〉 亀忠男 13人	3月11日	〈電動ロクロによる陶芸作品制作〉 柏井良夫 2人
3月18日	〈月例コンテストと作品指導〉 亀忠男 12人	3月21日	〈焼成〉 吉増達夫 30人
	〔陶芸実技講座〕		〔美術鑑賞バスツアー〕
4月9日	〈手造りによる陶芸作品制作〉 山本学 18人	10月14日~15日	〈古都の名刹めぐり〉 73人

6. 昭和53年度所蔵作品

○「購入作品」

No.	作者	作品名	材質・形状	寸法	制作年	出品展覧会名
1	村井正誠	URBAIN No.1	油彩・キャンバス	110.5×191.0	1936	第1回自由美術協会展 (1937)
2	高井貞二	夢のかたち	〃	132.0×162.0	1959	
3	浜口陽三	うさぎ	カラーメゾチント・紙	29.0×29.0	1955	
4	〃	ぶどうの房	メゾチント・紙	29.5×32.5	1957	
5	〃	緑のぶどう	カラーメゾチント・紙	19.5×24.5	1958	
6	〃	赤い鉢	リトグラフ・紙	46.5×60.5	1971	
7	〃	ブラジルの太陽	〃	27.5×45.5	〃	
8	建島覚造	CHIMNEY BOTTLES	アルミニウム・ステンレス	65×66×20	1970	第25回行動展
9	〃	D I S K 4	〃	60×150×90	1977	第32回行動展
10	野長瀬晩花	人物図	絹本・着色	30.3×32.6	1920頃	
11	村井正誠	三本の木	リトグラフ・紙	69.0×48.5	1962	
12	〃	二人	木版・紙	61.0×46.0	1963	
13	〃	紫と紺	リトグラフ・紙	45.0×36.0	〃	
14	〃	夜の人	〃	62.0×48.0	1964	
15	〃	二人	〃	63.0×44.5	〃	
16	〃	青い人	木版・紙	62.0×45.0	1972	
17	〃	顔	〃	62.5×45.0	〃	
18	〃	歩く人	〃	62.0×45.5	〃	
19	〃	顔	シルクスクリーン・紙	61.0×48.0	1974	
20	〃	人	〃	62.0×44.0	〃	
21	〃	人	木版・紙	62.0×42.0	1975	
22	〃	丸い顔	シルクスクリーン・紙	61.0×51.0	1977	

○「寄贈作品」

No.	作者	作品名	材質・形状	寸法	制作年
1	木下義謙	ぶじざくらの下にて	油彩・キャンバス	112.0×145.5	1938
2	神中糸子	飯田町風景	鉛筆・紙	18.6×23.9	1879
3	〃	風景	〃	15.4×23.4	1878~80
4	〃	風景(ローマ水道跡)	〃	12.4×23.5	〃
5	〃	風景	〃	13.0×20.8	〃
6	〃	塔の沢風景	水彩・紙	25.0×19.2	1888頃
7	〃	海岸風景	油彩・キャンバス	38.0×80.4	1888~92頃
8	〃	妙義山風景	水彩・紙	19.3×32.2	1918
9	〃	日光山艸木花鳥図画帖(8枚)	墨・紙	24.2×33.5	1899
10	〃	スケッチ(18枚)	墨・紙	23.0×34.3	
11	〃	資料(印章・パレット・絵具)			
12	高井貞二	影	油彩・キャンバス	114.3×127.2	1958
13	〃	食う	〃	162.7×132.0	〃

14	高井貞二	生きる	油彩・キャンバス	127.0×127.0	1959
15	〃	情熱	〃	127.0×127.0	1959頃
16	〃	太陽の下で	〃	127.2×127.4	〃
17	〃	メタモフィス	〃	204.0×177.0	1960
18	〃	奔流	〃	121.0×174.3	〃
19	〃	こころのコンポジション	〃	175.4×135.5	1961
20	〃	心象の空間	〃	162.0×130.5	1961頃
21	〃	赤い魚	〃	127.3×127.0	1965
22	〃	青い色	〃	127.3×127.0	1965頃
23	〃	ゼブラ	〃	126.8×127.0	1966
24	〃	卓	〃	127.0×152.0	1966頃
25	〃	SUN	〃	178.0×76.8	1966
26	〃	顔	〃	127.0×86.4	〃
27	〃	男と女	〃	127.0×152.0	1967頃
28	〃	若者	〃	127.0×152.0	1967~8
29	〃	BLUE FISH	リトグラフ・紙	40.0×50.0	1969
30	〃	FLIGHT OF BIRDS	油彩・キャンバス	53.2×61.0	1971
31	〃	BLUE BIRD	〃	55.8×63.5	1972
32	〃	青い鳥たち	〃	126.8×203.3	〃
33	〃	系図	〃	127.3×183.0	〃
34	〃	星と太陽	〃	53.3×63.5	〃
35	〃	飛ぶ	〃	127.0×152.0	1972頃
36	〃	ストーク	〃	126.9×203.3	〃
37	〃	巢	〃	127.3×152.8	〃
38	〃	朝の鳥	〃	127.0×152.0	〃
39	〃	帰る	〃	132.6×177.0	〃
40	〃	太陽の鳥	〃	127.2×152.8	〃
41	〃	色の構図	〃	96.7×127.0	〃
42	裕 伊之助	朝顔	石版・紙	74.2×53.5	1935
43	〃	大きなパルミエ	〃	52.0×69.0	〃
44	〃	鐘楼	〃	50.0×65.6	〃
45	〃	夏の夜	〃	40.0×29.0	1956
46	〃	吸坂手九谷上絵鴛鴦中皿	陶器	径 24.0	1972
47	日高昌克	層巒秋霽圖	紙本・墨画	37.4×51.1	1950
48	〃	ゆかし瀾印象	〃	30.2×42.6	1950頃
49	〃	初冬山溪圖	〃	38.4×50.4	1951
50	〃	溪山不盡圖	〃	39.4×56.8	1953
51	〃	巖峰圖	〃	56.1×27.1	〃
52	〃	初夏峰巒圖	紙本・墨画彩色	51.6×31.1	〃
53	〃	春霞遙曳圖	〃	29.0×63.0	1957
54	〃	林塘早春圖	〃	43.6×50.0	〃
55	〃	秋峰絶塵圖	〃	38.0×30.7	〃
56	〃	初夏晴嵐圖	〃	29.0×41.0	〃
57	〃	秋山空明圖	〃	42.0×45.8	〃
58	〃	夏山雨後圖	〃	40.5×45.5	〃

7. 所蔵品貸出状況

貸出先	展覧会名・会期	貸出作品	種別	点数
国立国際美術館	地獄絵・福沢一郎の世界 53.4.15~6.18	福沢一郎作 「なげきの市(I)」 「なげきの市(II)」 「鬼も忙し地獄の整地」	洋画	3
財団法人 西宮市大谷記念美術館	生誕90年 小出楯重展 53.9.2~10.1	小出楯重作 「淡路風景」…5点 「近江風景」…5点	デッサン	10
神奈川県立近代美術館	近代日本画の巨匠展 53.10.14~11.12	野長瀬晩花作 「被布着たる少女」	日本画	1
有田市教育委員会	昭和53年度有田市文化祭 52.11.2~11.6	川端龍子作 「白浜円月島」	日本画	1

8. 県立近代美術館 協議会委員

氏名	住所
明楽光三郎	海南市日方582
高橋 正司	伊都郡かつらぎ町妙寺829
楠見 勝寛	和歌山市新在家56
松尾 賢一	和歌山市小松原5丁目3-39
杉本 義夫	新宮市船町2-6-6
斎田 武夫	和歌山市西浜1052-9
島村 安彦	和歌山市磯山町4-2
玉井 一郎	和歌山市寺町13
寺田 健治	和歌山市新堀北ノ丁3-40
富松 助六	和歌山市北坂ノ上町1
尾藤 昌平	和歌山市新堀七軒町5
大岡 皓崖	和歌山市黒田168-9
室谷 文男	和歌山市園部152-8
脇村正太郎	田辺市栄町52
榎本 長平	田辺市新庄町377

会長 明楽光三郎
副会長 室谷 文男

9. 県立近代美術館 職員構成

館長 片山伴蔵
次長 山田義男
調査員 野口照彦

(事業課)

課長事務取扱 野口照彦
技師兼主事 松下勝行
学芸員 三木哲夫
学芸員 仲田耕三
非常勤嘱託 和高伸二

(庶務課)

課長 吉田禎之
主事 三宅慎治
主事 西原志郎

<資料紹介>

「日高昌克日記(I)」

1940年(昭和15)

1月1日 風強シ 寒シ

杉並区神戸町〔1938年7月頃から1941年3月頃まで住む〕ニテ新春二千六百年の元旦を迎ふ
米缺乏ノ為荻窪まで寒氣ヲ犯シテ其配達を頼み
に行く 帰途富嶽夕照に映え美しきを見る

1月2日 晴 暖

午後東京駅ニ急行券ヲ買求ム 五反田〔鈴木善次郎宅のこと 昌克三女昌子の嫁先〕ニ廻り六時半帰宿

1月15日

澗峽尺五幅紙本条物を大連首藤氏へ送ル、五反田ニテ荷物ヲ成ス

1月23日

観世喜之先生に謡曲を習ふ 船弁慶

1月27日

澗峽幅着の旨首藤氏より書状来る 謝礼として五百円贈らる

1月29日 晴 暖

丸ノ内台湾銀行ニテ首藤氏の五百円を領収す、二百円を返さんとて交渉すれど為替管理法の為
百円以上送金許可されず 止むなく郵便局に行

き二百円為替を組み 二百円を首藤氏に返却す

2月1日

久子〔昌克養女〕と共に五反田に行く 哲郎〔昌克孫〕病気の為休学セリ 二時間計り遊びて井荻〔神戸町の自宅〕に帰る 久子甚だ喜ぶ

2月2日

芝美術倶楽部にて倉敷大原氏売立を見る 宗丹風景(国宝)サ程胸をうたず寧ろ大雅堂四幅対小品頗る良し 恐らく十便よりも勝れるならん
夜 芝よりの帰途小雨降り来□□□ニヶ月ぶりの雨ならんか

2月3日 雨

朝起くれば四方銀世界也 武蔵野の雪景殊に美也 約二ヶ月ぶりの降雨として人皆喜べり 各所へ数通の書面を書く 学院〔美術工芸学院 1939年11月頃より1941年3月頃まで教授として勤務〕より依頼をうけたる原稿を書く

2月4日 雪

学院へ原稿を送る 大連石橋氏の来るを待つも見えず

2月5日 晴

正午 学校へ行く 午後二時石橋氏来る 外山〔卯三郎〕氏と三人して学生会館に行き晩饗を共にす

2月6日

午後高島屋にて良寛展を見る 二・三頗るよろしきものあり 越後国上村某家の旧蔵品也 半数位偽作ならんか

2月10日

美術工芸学院第一回講演会を淀橋公会堂にて開ク 出席 武井直也氏ノ葬儀に参拝ス

2月18日 晴 寒ク風強シ

午後一時ヨリ矢来町能楽堂にて観能 巴一観世 武雄 雲林院一観世喜之 雲林院頗るよし

2月19日 晴 寒シ

午後七時川口〔軌外〕氏訪問 途中驚ノ宮辺ヨリ背筋鈍痛ニ苦シム

2月20日 雨

熱発ノ為臥床

2月25日 晴後曇

燕ニテ帰和 車中極メテ暖 大垣より降雪ヲ見ル 関ヶ原より醒ヶ井に至ル沿道極メテウツクシ

2月27日

午後四時七条ニ行キタルモ外山氏来ラズ 山川頌美堂ニ行キ又帰阪

2月28日

外山氏東京ヨリ燕ニテ下ル 京都ニ迎フ 夜〔榊原〕紫峰氏ヲ訪フ 住居贅沢也 ステーションホテルニ宿ス 午後十二時帰宿 血痰二回出ズ

2月29日 曇

朝、川口氏ノ往診ヲ乞フ 熱八度又血痰二回喀出ス 以来血痰ナシ 外山氏神戸ニ向フ 夕頃川口氏又来診 熱六度六分也

3月1日

熱ナシ 午前十時宿ヲ辞ス 帰阪

3月2日

和歌山へ帰ル 熱ナシ

3月3日

十二天仏画ヲ松本氏宅ニテ被露ス 来会者〔敬称略〕葦原〔八洲〕松本周造 島村安〔次郎〕夫妻 稲垣〔静二〕 平野 池端〔俊輔〕 山田栄 近藤直人 大島 有本〔郭〕 鈴木寛堂 及我 壽一〔昌克長男〕等也 松本氏ノ餐宴ニテ大島大ニ酔フ

3月4日 雨

午後貞木〔英一〕氏ヲ誘ヒ又松本氏宅ニ行キ十二天仏画ヲ見ス 包装シテ東京ニ持参ノ準備ナレリ 午後雨降ル

3月5日 雨

仏画及山田氏ヨリ推せん竹田画帖ヲ持参 和歌山ヲ出ズ

3月6日 曇後晴

二尺幅松吹々鳥ヲ描ク 又面河瀧ヲ描ク

3月9日 晴 暖

神戸ニ行ク 朝日会館ニテ二千六百年展ヲ見ル 頼朝 重盛像極良 聖徳太子像又頗るよし

3月12日

連日面河溪瀧ト老松吹々鳥ヲ画クモ成ラズ

3月13日 晴

午後一時燕ニテ東上 久子等大阪駅迄見送ラル 食堂ニ入ル 夜五反田ニ着 十二天仏及竹田画帖ノ為大ニ気張ル

3月14日

博物館ニ秋山〔光夫〕氏ヲ尋ぬるも居らず 不忍池畔ニテ憩フ 秋芦ニ水禽面白シ〔スケッチあり〕

3月15日 晴

朝仕事 松吹々鳥及面河瀧ヲ描ク 又梅白鷺横物ヲ描ク 之も十数日不至ル 河野九民君来ル 午後井荻部ヲ散歩ス 河野君大ニ風景ヲ賞讃ス 河野君宿泊ス

3月16日 晴

昼前河野君ト連レテ上野ニ行ク 独立展及武井直也氏遺作展ヲ見ル 独立段々トヨクナレリ 東京駅ニテ夕食シテ河野君ト分袖ス

3月17日 晴 寒

夜谷井類助氏ヲ池袋ニ訪フ 帰ッテ見レバ番人居ラズ 戸ハ堅ク閉サル 甚ダ困シム 風強シ 戸ヲ叩クコト約四十分 閉口

3月18日 晴

連日ノ作品ヲ描ク 昌子〔昌克三女〕来ル

3月26日 晴

博物館へ十二天像中七点ヲ寄託ス

3月31日

面河溪尺八条幅 瀧完成

4月1日 曇 暖

午前九時発燕ニテ西下

4月8日

坂上氏二人連ニテ来ル メートルを挙グ

4月10日

午後一時発燕ニテ帰京

4月12日

学院始業式ニ臨ム

4月15日

阿部摺英氏来訪

4月16日

初メテ登院シテ芸術論及形態研究ヲ講ズ 午後須田〔国太郎〕氏個展ヲ見ル 大ニヨロシ

4月17日

上野ニ春陽会及美術文化展ヲ見ル 後者福沢〔一郎〕氏ノ主宰スル所 意気昂然タリ 博物館ヲ参観 午前故観世喜之ノ霊ニ参詣ス

4月23日 晴天

午前講義出席 午後一時かもめニテ帰市

4月26日

阿部氏来訪 午後六時外山氏来和 三人ニテ新和歌浦米栄ニ遊ブ

4月27日

外山氏ト共ニ夜京都へ入江〔波光〕氏ヲ訪フ 九時半辞去 大阪ニテ外山氏ト別ル 外山氏神戸ニ向フ

4月29日

午後一時臨時「ツバメ」ニテ帰京 夜十時井荻

4月30日

学院ニ出席 水墨画概論講義

5月1日

午後三時ヨリ学院生徒数名ト共ニ中林梧竹翁ノ書ヲ見ル 力強シ

5月2日

午後中林梧竹書ヲ重ネテ観ル 鳥山ヨリ高井戸 一帶武蔵野ノ情調大ニヨロシ

5月3日

午後外山氏 田中一松氏打連レ来訪 作画ヲ観 覽ニ供ス 十二天仏一見ヲ乞ヒタリ

5月4日

夜根岸表具店及竹内小児科院ヲ訪問ス 根岸へハ個展ノ準備也

5月7日

講義出席

5月8日

午後一時発ニテ写生旅行ニ向フ

5月13日

帰京

5月14日

出講

5月15日

学院理事会アリ 出席 夜十時帰宅

5月16日

個展準備ノ為多忙

5月18日

生徒井沢ヲ預カル

5月19日

藤島 御沢 平瀬の両氏ヲ訪問ス 午後五反田ニ行ク 孟〔昌克四男〕ト同道 帰途佐藤□雄氏ヲ訪ネ府立家政院まで徒歩 帰宿 沢井夜帰宅セズ

5月20日

午前七時東京駅ニ行ク 七時半着ノ列車ニ三浦〔直彦〕長官ヲ迎フ 新宿ニテ調髪シ学院ヘ行ク ソレヨリ徒歩ニテ高円寺ヨリ廻リテ沼袋ニ至リ谷井氏ヲ訪問ス

5月22日

個展初日 廿点展列 二点首藤氏 一点三浦氏 一点平瀬氏 一点林田〔重正〕氏 右売約ス 寛堂上京ス

5月23日

第二日目

5月24日

個展終日 一点津村氏 右売約 来観多シ

5月27日

正午 三浦氏招待昼食ニ□□ 外山氏 福沢一郎 鳥海青児の三氏と会食 三浦氏より巻千円受取

5月29日
夜三浦長官ヲ東京駅ニ送ル

5月31日
学院ヨリ箱根へ修学旅行ニ行ク

6月4日
授業後関西へ行ク 制作

6月5日
制作

6月6日
制作

6月7日
制作

6月8日
制作

6月9日
制作

6月10日
制作

6月11日
制作

6月12日
水間奥山池写生ス

6月13日
阪上俊男氏ト飲ム

6月14日
制作

6月15日
制作

6月16日
制作

6月17日
六甲 芦屋 西宮へ行ク 写生ノ為

6月18日
制作

6月19日
制作

6月20日
制作

6月21日
上京 五反田へ一泊 孟腸ヲ病ム

6月22日
午後井荻ニ帰ル 仕事出来ズ

6月23日

平瀬氏ヲ訪ヒ日本橋ニ廻ル 帰宅後良雄〔昌克三男〕来ル 共ニ夕食ス 夜ヨリ腹痛下痢ナリ

6月24日
朝ヒマシ油ニテ飲ム 下痢約二十回

6月25日
今朝気分ヨロシキモ学校ヲ休ム

6月26日
又腸カタル患ヒ一日七八回便通ス 軽キ腹痛及下痢硬便相半バス 仕事出来ズ

6月27日
同上

6月28日
同上 仕事ス

6月29日
思ヒ切ッテ就床ス 仕事セズ流動食ニ改ム

6月30日
今朝稍々快方ニ向ヘルモ疲労感強シ 朝 牛乳卵黄及オモ湯 昼 カユ 卵黄 身体ダルクまだColikアリ 稍々下痢ス

1948年(昭和23)

1月1日 晴 暖
九時起床 辛ふじて祝もちを喰う 鷹かきつづく〔後略〕

1月2日 晴 暖
鷹かきつづく 午後三時、〔神田〕^(ママ)瑞穂君来り次で隆〔昌克二男〕来たる 煮豆にて飲む

1月3日 晴 暖
午前十一時和歌浦坂上氏を訪う 島本哲郎氏、中尾氏等と飲み、共に同家に泊る

1月4日 晴 暖
和歌浦隆に迎へられ同夜泊る

1月5日 晴 寒し
高松仮寓〔八瀬敏太郎宅 1945年戦災により自宅焼失のため1947年6月頃より仮寓〕に帰る〔後略〕

1月6日 曇 寒
鷹制作 蓮池制作

1月7日
同上

1月8日
蓮池、森、鷹制作

1月9日

同上

1月10日
同上 県日本画展出品期日十四日中と古村〔徹三〕君来り知らず

1月11日
同上制作

1月12日
同上 矢橋〔六郎〕氏へ山峡暮近を送る 四千五百円受取る 貞木〔英一〕未亡人へ玉置氏を介して金子を渡す

1月13日
蓮池と森 玉置氏に托し装演 鷹制作 駄目になりそうなり 夜青木〔正夫〕君来泊

1月14日
鷹制作 駄目かどうかのわかれ目 二点出品 青木君泊る

1月15日
鷹制作 日本画凡て悪作の由 蓮池、森は凡作の由、青木君泊る

1月16日
丸山君来り八塚〔孝太郎〕氏よりの画帖催促さる 青木君泊る 寒気酷烈

1月17日
青木君泊る 近藤〔直人〕氏夜来る 書を談ず 寒さ強し

1月18日 寒さ酷し
午後、松本周造氏来り短文をかけといふ 朝青木君去る

1月19日
午後 井上永悠君 玉置君と共に来る 越ノ湯より観音画着〔後略〕

1月20日 少しく暖
和歌山新聞より依頼の短文「傳統」をかく

1月21日 晴 暖
朝〔河野〕九民君来訪 八塚君からの画帖をかく〔後略〕

1月22日 曇 暖
午前八塚君ノ画帖執筆〔後略〕

1月23日 曇 暖
八塚君ノ画帖ノ絵ヲ描ク 小品二点かく〔中略〕 露伴の遊塵をよむ〔後略〕

1月24日
夜来の雨はれて庭の草湿ほえり 冬暖かにして 樹木青々たり 小品二点かく 謡曲八島を習う 八塚君の画帖かく 夕食ゆとうふにて僅かに杯

を傾く一合半、うまし

1月26日 晴 寒し
朝九時、いよいよ仕事をしようとする時西田郁平君来る まもなく紅葉谷〔楠一〕、玉置君達来り、雑談に花咲き午後三時客皆去る、ようやく食事す〔後略〕

1月27日 晴後曇 寒し
八塚君の画帖二点かく 露伴の「観画談」をよむ

1月28日 晴 寒し
雛ノ画ヲ描ク

1月30日 曇 やや暖
〔前略〕 鷹ノ尺三に執筆

1月31日 晴 やや暖
朝幸塚氏来り談ず 夕、八瀬氏宅にて三人飲む 幸塚氏面白し 十時就寝、尺三長鷹ノ画をかく

2月1日 曇 午後時雨
終日、鷹ノ画外小品をかく 夜玉置氏来る 正午過壽一〔昌克長男〕来り夕食を食して帰る

2月2日 曇 やや暖
鷹の尺三をかく 熊野の山半切をかく この画は半年ばかり前執筆 その後思ひ出しては筆を加う 池端〔俊輔〕君来る

2月4日 晴 寒し
仕事 隆来る

2月5日
午前仕事 午後外山〔卯三郎〕氏来る 夕食を共にす

2月6日
午前仕事 午後山本彦〔三郎〕氏来る 玉置氏うら打持参 花鳥小品 蓮面白し

2月7日 寒気強し
謡稽古 八島 午前、外山氏来る 昼食を共にす 湯とうふ外三・四点 酒三合 雑談面白し

2月8日 晴 暖 やや寒し
鷹を画く 午後八瀬君宅謡を聞く 盛久〔福田〕よろし

2月9日 晴 寒し
午前鷹をかく 微熱あり関節痛し臥す 玉置来り次で池端君来り魚を恵まる

2月10日 晴 寒し
午前鷹をかく 午後三時臥す 夜隆来る

2月11日 晴 やや寒し

終日鷹をかく
2月12日 晴 暖
終日鷹をかく〔後略〕
2月13日 晴 寒し
終日鷹をかく〔後略〕
2月14日 晴 寒し
終日白鷹をかく 眠りがたし
2月15日 曇 寒し
終日鷹をかく 夜来雨降る
2月16日 曇 暖
終日白鷹をかく かいつむり「驚き」に着手
2月18日 晴 やや暖
鷹をかく かいつむりを描く 夜近藤氏玉置君来る
2月19日 晴 やや暖
鷹をかく かいつむりをかく 午後玉置君来る
2月20日 晴 暖
鷹をかく かいつむりをかく 午後市川(小吉)玉置両君来る 隆来る〔後略〕
2月23日 晴 暖
鷹 かいつむりかく 齒痛し 午後玉置氏来り 夜八時迄遊ぶ
2月24日 晴 やや寒し
小品二三かく 鷹 かいつむりかく
2月25日 曇 寒し
午前玉置 午後高橋氏来り雑談 仕事出来ず
.....
3月5日
井内(達人)君に作品三点を渡す
3月6日 晴 やや寒し
不動明王をかく 矢敗 瀧(面河溪)をかく
正午前美子(昌克長女)来り 午後〔山本〕慶一君来る
3月7日 晴 寒し
蓮池に執筆 午後まで骨描 三時近藤氏来り続いて九民君来る
3月8日
画作
3月9日
画作
3月10日 曇 暖
正午前林田(重正)君来訪 ツタ子(昌克夫人) 鳳、貝塚に行き不在 林田君泊る 画事を談ず
3月11日 晴 暖 後雨
林田君と食事後井利登君夫妻来る 林田君去り

井利夫妻又帰る
3月12日 曇 暖
午過ぎ甲崎〔鈴木善次郎宅のこと〕に来る 一つ見ても名草山の姿うつくし
3月13日 雨 暖
朝霧第二の筆 面河の瀑をかく 朝起くれば名^(ママ) 艸山にかかる雨雲えもいはれず美しく 孟卒業の故を隆より聞くうれし 夜隆来る
3月14日 雨 寒し
朝霧及瀑をかく
.....
3月19日 晴 暖
甲崎よりリヤカ〔一〕に乗り真雄 敏郎〔共に昌克孫〕に曳かれて帰宿 途中春色よろし
3月20日 晴 暖
引続き制作〔後略〕
3月21日 晴 暖
正午過ぎ玉置君来る 書をかかせらる〔後略〕
3月22日 雨
制作
3月23日 雨
制作 午前外山氏東京より来る 個展及画集出版の相談まとまる
3月24日 曇
外山氏午後東京に帰る
3月25日 晴
制作
3月26日 晴
制作
3月27日 晴
制作
.....
4月10日
〔全文略〕
4月11日
絵筆遂に止まんとす
午後外山氏より電報来り十九日より丸善画廊にて個展開催の約成レリといふ
.....
4月12日
〔全文略〕
4月13日
玉置氏ニ作品ヲ托シ大急ニテ仮表装ヲ頼ム
4月14日
東京より個展出品作の催促急

4月15日
午後玉置氏作品十七点の表具を持参し来る 森 老松等の作品よし
4月16日
午後昌子宅へ行く
晴天
4月17日
鈴木作品二十五点ヲ持ッテ東上
4月18日
鈴木宅眺望よし 終日制作
4月19日
今日より三日間 東京日本橋丸善画廊ニテ個展開催ス 歩行不能の為東上出来ザルハ遺憾なり 終日制作
4月20日
終日制作
4月21日
終日制作
4月22日
午後鈴木東京より帰る 個展の出品作品弱シト聞ク 二点場内ニテ売約ノ由
4月23日
午後高松ニ帰ル
4月24日
午後玉置氏来る
出品作山峽朝ヨリ描キ終日制作
4月25日
朝 和歌山展出品作「山峽」ノ裏打ヲ玉置氏ニ托シ出品ノ労ヲタノム 蓋シ一日ニテ完成 中処ノ出来也
4月26日
今日ヨリコロ一模写ヲ始ム
和歌山日本画展市役所ニテ開カレタル由
.....
5月1日
「暮近づく」作る
.....
5月3日
「分水」半ば作る
5月4日
疲労す 夕、隆の処へ行く〔後略〕
5月5日
隆の処ニ滞在 「沢辺の朝」を観る よろし
5月6日
和歌浦滞在

5月7日
午後甲崎ニ来る〔中略〕 滞在終日
5月8日
甲崎ニ滞在 読書 隆来る
5月9日
朝高松ニ帰ル ツタ子麻生津ニ急用出来不在 終日ボンヤリ暮す
5月10日
画ヲ描く
ミレー及後期印象派の画を見直す
画技ゆきつまる 転廻を要す
5月11日
画をかく
5月12日
画ヲ描ク
5月13日
「分水」に着手
.....
5月23日
池端君宅に会す 恐らく十数年ぶりにこの友の宅を訪ひたり 会するもの南〔幸夫〕玉置及主人の四人也、近藤氏上京のため不参 夜半背部筋肉痛ヲ起ス 睡眠不十分 発熱
5月24日
朝尿 終日赤色ヲ呈ス 熱 朝七度八分 后八度 就床 外山氏東京より来る(正午)
5月25日
熱去ラズ 尿赤シ 床ノ中ヨリ外山氏ト談ズ 熱前日ニ同ジ 午後外山氏大阪へ行キ六時帰市 夜甲崎ニ泊ル
5月26日
尿ノ色前日ニ同ジ 下熱 隆ニ検尿ヲ頼ム 外山氏午後來ル 夜東和歌山ヨリ引返シ泊ル 夜中家族睡眠ヲ得ズ
5月27日
午前四時外山氏東和歌山駅ニ行ク 九時大阪発ニテ帰京ノ為也
熱下ル、尿ノ色赤シ 夜鈴木夫妻見舞ハル
5月28日
離床 「分水」執筆 午後坂上氏来ル
5月29日
林 分水 出来
.....
5月31日
迫暮又新夕ニ執筆

6月1日
画悪 ゆき悩む 何で深い画が出来ぬか 私は
駄目か
.....
6月3日
〔全文略〕
6月4日
絵出来ず 自己の天分を疑う
6月5日
同上
6月6日
同上
6月7日
同上
.....
6月22・23日
〔全文略〕
6月24日
午前甲崎へ行く 転宅準備ノ為也 〔後略〕
6月25日
八瀬君宅を引払い砂山ニ転居ス 自分ハ甲崎ニ
滞在
6月26日
同上
6月27日
午後壽一来り会談ス
午後六時新居へ転ズ 清潔ニテ住心地よし
.....
8月4日
午後五時トンボちん入 にげ道なく ガラス窓
といはず壁とはいはずにげ廻り 頭をうちつけて
狼ばいす 人間の節度を失ひたるに似たり
.....
8月6日
夕方甲崎ニ行ク
8月7日
海の構想
8月8日
海の構想
8月9日
海の構想 〔後略〕
8月10日
夕方砂山ニ帰ル 海ノ構想
.....
8月14日

外山氏東京より来る 夕方帰京
.....
8月16日
作品更らに進展せず 才能の足らざるを憂う
.....
8月25日
〔全文略〕
.....
8月29日
熊野の山 溪谷 艸山等画境やや愁眉を開く
.....
9月2日
〔前略〕 腸を病む 下痢
9月3日
〔前略〕 腸を病む 下痢 仕事進まず
9月4日
〔前文略〕
9月5日
下痢止まず 画業中止
.....
9月8日
腸漸く治す
.....
9月28日
ツタ子病ム
.....
10月17日
午後池端君宅ニテ私ヲ中心ニ親交会ヲ開ク 会
スル者十人
10月18日
午後三浦〔直彦〕氏来リ夕食ヲ共ニス
.....
10月29・30・31日
〔全文略〕
11月1日
久子病ム 午後隆来診 夜外山氏を迎う
.....
11月17日
ツタ子漸く廻復の兆見ゆ
.....
11月19日
東京西銀座兜屋画廊にて個展開催
雑木山 夏山欲雨 出来よし 他の作品ハ春の
時よりも劣るか
11月20日

同上
11月21日
同上終り
断崖(尺五条幅)竹田〔復郎〕氏 入江(小品)
林田氏買約
.....
12月2日
夜十一時外山氏東京より来る 雑談深更に及び
就寝一時半 払曉僅かに微睡 画集の作品廿三
葉を示さる まづ無難か
12月3日
外山氏大阪へ行く
12月4日
外山氏夕刻来訪 泊ル
12月5日
早朝外山氏帰京
12月6日 雨
甲崎鈴木方へ行く
12月7日 曇
いつ見ても山や木はうつくし 制作
12月8日
〔前略〕 制作
12月9日 晴天
制作
12月10日 雨
制作
12月11日 快晴
医師会余技展開く 作品十点出品 初秋の池
熊野の山よし
12月12日 快晴
〔前略〕 医師展へ行く 初秋ノ池 熊野の山
よし
.....
12月22日
制作頻りにはずむ
12月23日
同上
12月24日
同上
12月25日
同上
12月26日
〔前略〕 同上
12月27日
制作頻りにはずむ

12月28日
午後島本〔哲郎〕坂上及其の家族来り飲む
同上
12月29日
〔前略〕 同上
12月30日
同上
.....
1949年(昭和24)
1月1日
昨夜より雨止まず 政界の憂うつささにさも似
たり。午後〔八瀬〕善郎〔昌克孫〕夫婦年頭祝
詞に来る。来客一人もなし。
昨日より白菜写生
1月2日 晴 暖かし
来訪者なし 白菜写生
1月3日 午後雨晴る
近藤〔直人〕 玉置両氏来る 他に来訪なし
.....
1月5日 寒強し 降雪
不動明王に着手 〔後略〕
1月6日 寒強い 降雪
〔前略〕 一月以来画境頓に開く 〔後略〕
1月8・9日
〔全文略〕
1月10日
外山〔卯三郎〕氏早朝来る
一泊十一日帰京
.....
1月28日
近来頻りに作画進行
.....
1月31日
〔全文略〕
.....
2月11日
不動明王に着手
連日執筆
.....
2月14日
外山氏来る 15日朝出發 ツタ子〔昌克夫人〕
近来又病弱 〔後略〕

2月20日
近來作画大ニ奮ウ

2月22日
一口5,000円の画会ヲヤル

3月2日
画会四人入会

3月9日
画すすむと雖ども理想には遠し

3月11日
画会の画ヲかく

3月13日
鈴木〔善次郎〕方へ行く 隆〔昌克二男〕に自
転車にて送らる
毎日読書

3月17日
帰宅に先だち隆宅を訪ひ又隆に送られて帰宅
和歌浦春色よし 午後四時微雨ながら帰宅

3月18日
又作画を始む 玉置氏より裏打8点届けられる
二・三点いいものあり、山麓の農家(2尺横物)
おもしろし

3月24日
隆来訪 和歌浦〔池田隆宅〕にて医療の指導を
頼まる 行く気持になる どこでも画をかける
性質は調法也

3月28日
夜外山氏来訪 午後十時 29日朝早く帰都

3月30日
午前厚生車〔輪タク〕にて和歌浦隆ニ来る
〔後略〕

3月31日
不動明王着手を始む

4月2日
午後砂山へ帰る

4月3日
雨の為又終日在宅

4月4日
隆に迎へられ和歌浦に来る 画と診察

4月7日
夜楠氏来訪 藤村へ一泊をたのむ

4月8日
午後楠氏と共に自宅へ帰る 楠氏は夜一泊

4月10日
風強く隆迎へに見えず 終日自宅にて画をかく

4月11日^天
朝車にて雨中和歌浦に来る 途中不老橋、一本
松 小雨に煙りて眺、殊の外よろし

4月12日
着色不動明王やや進行

4月14日
今日亡父〔木村元寿〕ノ命日也 没後51回忌ニ
当ル

4月16日
帰宅

4月17日
隆宅へ来る 連日患者数名に過ぎず

4月23日
楠氏砂山一泊 〔後略〕

4月24日
雨止みたる為楠氏と共に砂山に帰る

4月25日
朝和歌浦に来る 〔中略〕 鈴木方へ大久保〔作
次郎〕氏の晩餐に列席す 氏の洋画を見る

4月30日
夕方帰宅

5月1日
終日砂山にて小品をかく

5月2日
和歌浦に来る
〔ママ〕

5月2日
和歌祭を和田〔傳太郎〕氏宅にて見る

5月5日

外山氏夕方東京より来る 東韻会の打合せをな
す

5月7日
午後五時砂山へ帰る

5月8日
終日作画

5月14日
夕近藤氏より招待をうく 自動車を向けらる 常
藏先生の霊前に拝す 夜十時帰宅 十二時就寝

5月15日
終日作画
リウマチ頓に悪化

5月21日
午後3時帰宅 夜玉置氏来る

5月22日
鍾馗をかく

5月23・28日
〔全文略〕

5月29日
終日画をかく

5月30日
朝和歌浦へ来車

6月5日
竹田〔復郎〕氏来浦 藤村方の招待をうく 午
後4時砂山に帰る 土橋氏京大□の幅持参せる
を見る □条よろし 夜外山氏来る

6月6日
外山氏朝和歌浦へ来り画幅3点を持ち帰る 有
本氏の小品数点をも共にす

6月11日 晴
午後砂山へ帰る 画をかく 久しぶりにて逆行
リウマチ悪し

6月12日 晴
終日作画 逆行 リウマチ悪し
6.14-6.19日迄有本氏書と東韻会を阪急にて開
く

6月15日
夕鈴木方へ招かる 中西〔弘七〕 山谷 和田
〔傳太郎〕氏と同席 雑談面白し

6月16日
朝 雨中車にて和歌浦へ帰る

6月18日
雨甚ダシ 砂山より車 久子〔昌克養女〕を乗
せて来る 帰宅とくと眺む 作画

6月19日
終日作画 夕六時松本〔周造〕氏来り浄るりを
聞く

6月20日
朝 雨中和歌浦へ来る 夕方外山氏来る 夜中
まで雑談 就床一時 三時頃よりテラ台風

6月21日
暴風雨の中を朝外山氏去る 終日風雨強し 夕
方漸く止む リウマチ悪し

6月22日
漸く晴れたりと思へばまた降る 夕方より全く
止む

6月25日
例により夕方隆に送られ帰宅

6月26日
終日作画

6月27日
朝小雨降る中を和歌浦へ来る

7月2日
例により帰宅 〔後略〕

7月3日
朝 鷺着手
午後附属小学校に医師会演芸会を見る 池端〔俊
輔〕夫人の舞極めて妙 井上氏寸劇もよし ツ
夕子相変らず病む

7月4日
和歌浦 〔後略〕

7月9日 晴
夕帰宅

7月10日
隆の友人達八人集る 画の観かたを談じ十時散
会

7月15日 晴
夕 車屋に迎へられ帰宅

7月16日

玉置、井内、速水等来る 暑くて仕事進まず

 7月22日
 例により帰宅
 7月23日
 終日作画
 7月24・30日
 〔全文略〕
 7月31日
 終日作画 夕方杉本〔三郎〕氏来訪 夕食ヲ共ニス

 8月6日
 帰宅 ツタ子喘息尋麻診ニテ病ム 私の関節炎も次第に悪化 前途闇シ 夜玉置氏来訪
 8月7日
 午後池端君来り数時間談笑 夜松本君来る 関節痛シ 後関節炎次第ニ悪化ス

 8月13日
 帰宅 〔中略〕 関節炎ノ為睡眠シ難シ 〔後略〕
 8月14日
 今日わが誕生日也 夜安眠

 8月20日
 夕帰宅 暑さ酷し ツタ子又健康勝レズ
 8月21日
 午後 長田君来り画談 夜十時半青木来る 就寝を防ぐ 後方極めてよし

 8月23日
 浜口君午後五時和歌浦に来訪 夕食を共にす

 8月27日
 帰宅 夜玉置君来る
 8月28日
 終日作画 味覚悪し

 9月3日
 帰宅 久子病ム 〔後略〕
 9月4日
 午後池端 近藤氏等来遊 夜玉置君来る 日本画展白鷺、不動出品
 9月5日

朝日本画展を見る 車夫の背に負はれ 近藤氏の静物極めてよし 余が白鷺之れに次ぐ

 9月10日
 帰宅 夜7.5
 9月11日
 二百廿日平穩 午前小村〔ママ〕〔古村徹三〕君来り単行本の扉画を頼まる 午後 近藤、松口、中村の諸君来る
 9月15日
 〔全文略〕

 9月17日
 帰宅 ツタ子病む
 9月18日
 終日作画

 9月24日
 帰宅 ツタ子ややよし
 9月25日
 終日作画

 10月1日
 帰宅 ツタ子又病む 〔後略〕
 10月2日
 久子運動会アリ 午後南〔幸夫〕氏来ル 皆留守 茶モススムル事能ハズ 熊野風景長物

 10月5日
 楠氏来ル 昼食後去ル

 10月8日
 帰宅 ツタ子の喘息いよいよ悪化
 10月9日
 同上

 10月15日
 帰宅ニ先ダチ甲崎〔鈴木善次郎宅〕ニ廻リ 梅原、ドラ、御舟の諸作ヲ見ル 梅原三点の中三津富士小品面白シ 御舟の猫もよし 帰宅すればツタ子病状面白からず
 10月16日
 終日作画 雑誌口絵下面ヲ始ム 後方60点

 〔ママ〕
 6月22日

半切風景二点を持って砂山に帰る
 〔ママ〕
 6月23日
 終日作画 □□よりながら雑談 夜のふくるを知らず

 10月28日
 帰宅 ツタ子病気未治安眠を得ずといふ 雑談楽し
 10月29日
 日曜午後医師会館ニテ杏林美術展を見る 朝玉置君来る 雑談楽し 〔後略〕

 11月4日
 帰宅 玉置氏来る 十五日県日本画展の審査員を囑託さる 胸中丘邸、那瀑外一点仕上ぐ
 11月5日
 終日作画 雑談楽し 〔後略〕

 11月12日 大雨 後止む
 玉置君来浦 出品作装幀ヲ頼ム 1老梅 2瀧 3雑木林 〔後略〕

 11月14日
 帰宅
 11月15日
 朝 日本画展会場へ、鑑審査ニ出かく わが画迫力乏しきをうらむ

 11月19日
 帰宅
 11月20日
 終日作画 夜玉置来る 雑談高調 〔後略〕

 11月26日
 〔全文略〕
 11月27日
 終日作画

 12月4日
 帰宅 ツタ子まだ本復に至らず
 12月5日
 終日作画

 12月10日

帰宅
 12月11日
 額をかく

 12月14日
 夜暴風雨にて眠れず

 12月17日
 帰宅
 12月18日
 午後 池端 南両君来る 〔ママ〕 中間雑談相当楽し 〔後略〕

 12月24日
 帰宅
 12月25日
 〔全文略〕

後記

上記日記は、本館が1978年度秋の特別展に於て紹介した画家日高昌克(本名池田昌克 1881~1961)の日記で、昌克の令嗣池田壽一氏の所蔵されているものの一部である。

日記は6冊の懐中手帳に記されていて、1940年と1948年から1955年にかけてのものであるが、今回は紙面の都合によりその中の3冊を紹介した。

第1冊目は1940年1月1日から6月30日までの日記。

画業専念のため医者をして上京し、制作の傍ら美術工芸学院の教授として勤めていた時代のものである。この年の画業に関する主な動きとしては、5月の東京での個展開催の他、日記にはないが、8月の美術工芸学院公開作品展出品、11月の神戸での個展開催などがある。

第2冊目は1948年1月1日から12月30日までの日記。

第3冊目は1949年1月1日から12月25日までの日記。

共に関節リウマチスによる歩行不能、両手の不自由を克服しながら作画に没頭していた時代のものである。両年の画業に関する主な動きとしては、1948年には、1月の和歌山県日本画協会小品展出品、4月の東京での個展開催及び第1回和歌山県日本画協会展出品、11月の東京での個展開催、12月の杏林余技美術展出品などがあり、1949年には、9月の和歌山県日本画協会展出品、10月の杏林余技美術展出品、11月の和歌山県美術展審査及び出品などがあり、多忙な両年であったようである。

なお、表記にあたっては、出来る限り原典に忠実であるよう努めたが、旧字体を新字体に、第1・2冊目が縦書きであったのを横組に改めた他、改行・句読点を少し整理し、判読不明の箇所を□に、誤字かと思われるものに〔ママ〕を附した。また、文中の編者による註は〔 〕で示している。

(三木哲夫)

和歌山県立近代美術館年報

昭和53年度

昭和55年3月31日 印刷

昭和55年4月1日 発行

編集・発行

和歌山市小松原1丁目

和歌山県立近代美術館

印刷

和歌山市中之島920

白光印刷有限公司